

漁港漁場整備長期計画  
幣串漁港 漁港施設機能強化

漁港番号	種別	所管	事業主体	管理者	施行場所
4920030	第2種	離島	鹿児島県	鹿児島県	鹿児島県出水郡長島町幣串地内

幣串漁港漁港施設機能強化工事 (R5-2工区)

- 2.0m物揚場 (改良) L= 49.9m
- 基礎工 L=59.0m
- 捨石 (500kg内外) V=227m<sup>3</sup>
- 堤体工 L=49.9m
- コンクリート打設 V=311m<sup>3</sup>
- 舗装工 L=22.0m
- コンクリート舗装 A=76m<sup>2</sup>
- 付属工 N=1.0式



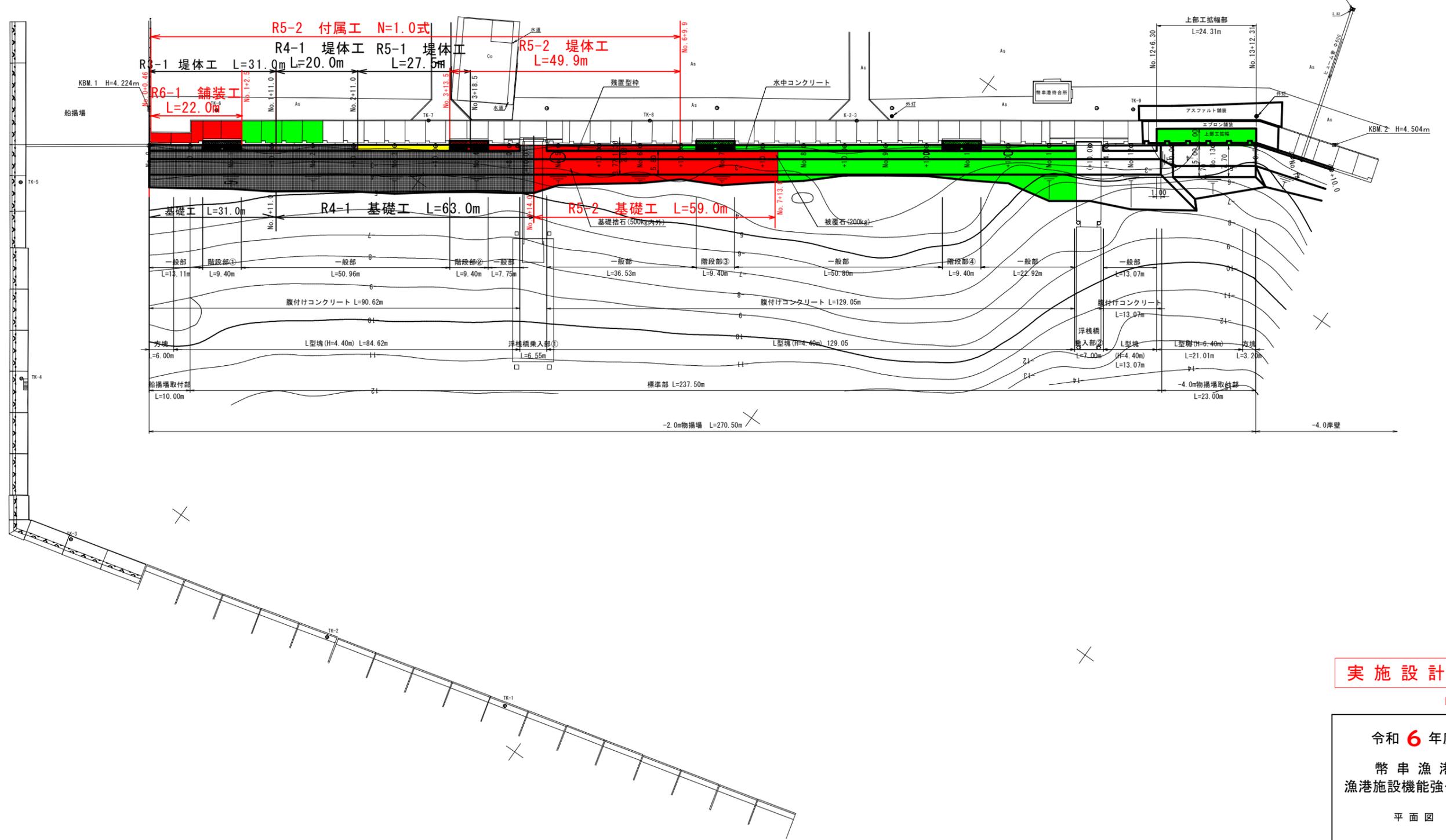
凡例	色	説明
	黒	令和4年度まで施工
	黄	令和5年度施工
	赤	令和6年度施工
	緑	令和7年度以降
	茶	その他の事業

実施設計図

R5-2工区

令和6年度  
幣串漁港  
漁港施設機能強化 工事  
  
計画平面図  
全 21 葉の内 1 号  
鹿児島県

平面図  
S = 1:500

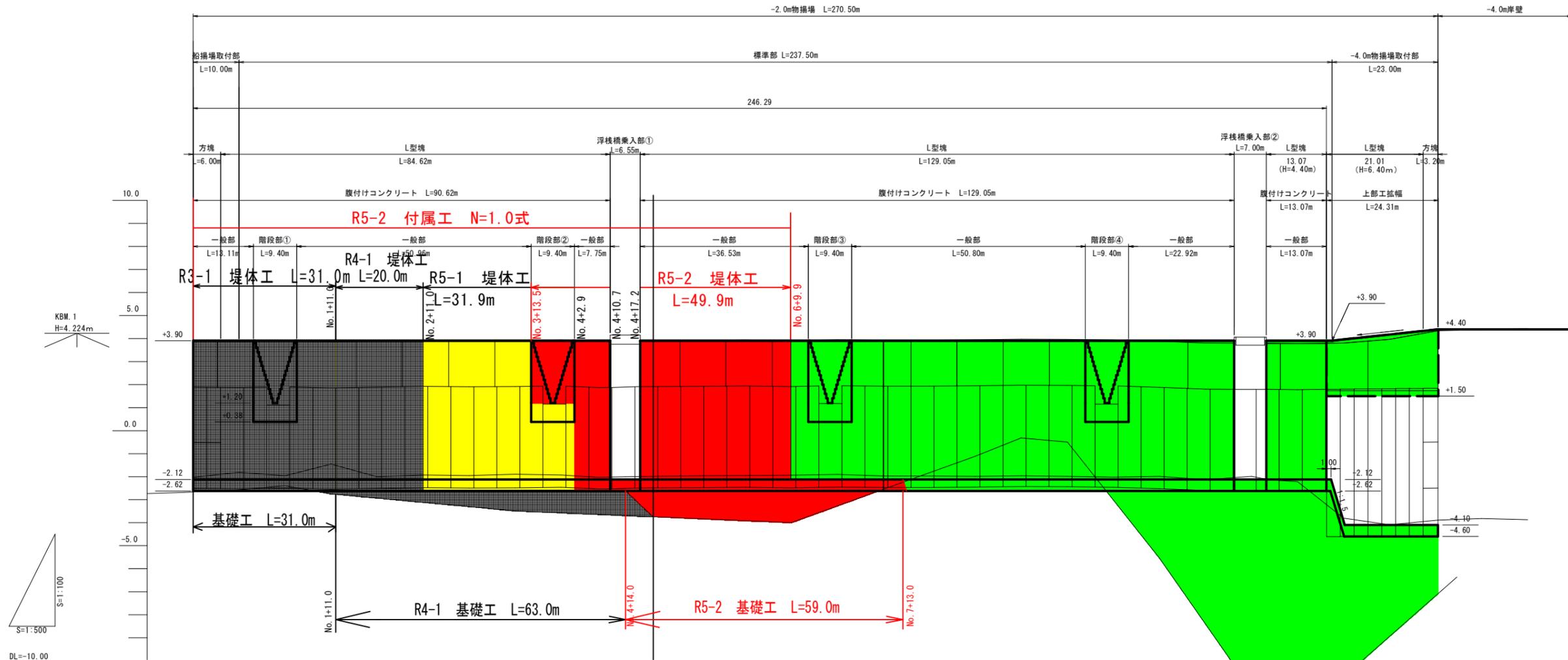


実施設計図

R5-2工区

令和6年度  
幣串漁港  
漁港施設機能強化工事  
平面図  
全21葉の内 2号  
縮尺 500分の1  
鹿児島県

縦断図  
V=1:100  
H=1:500

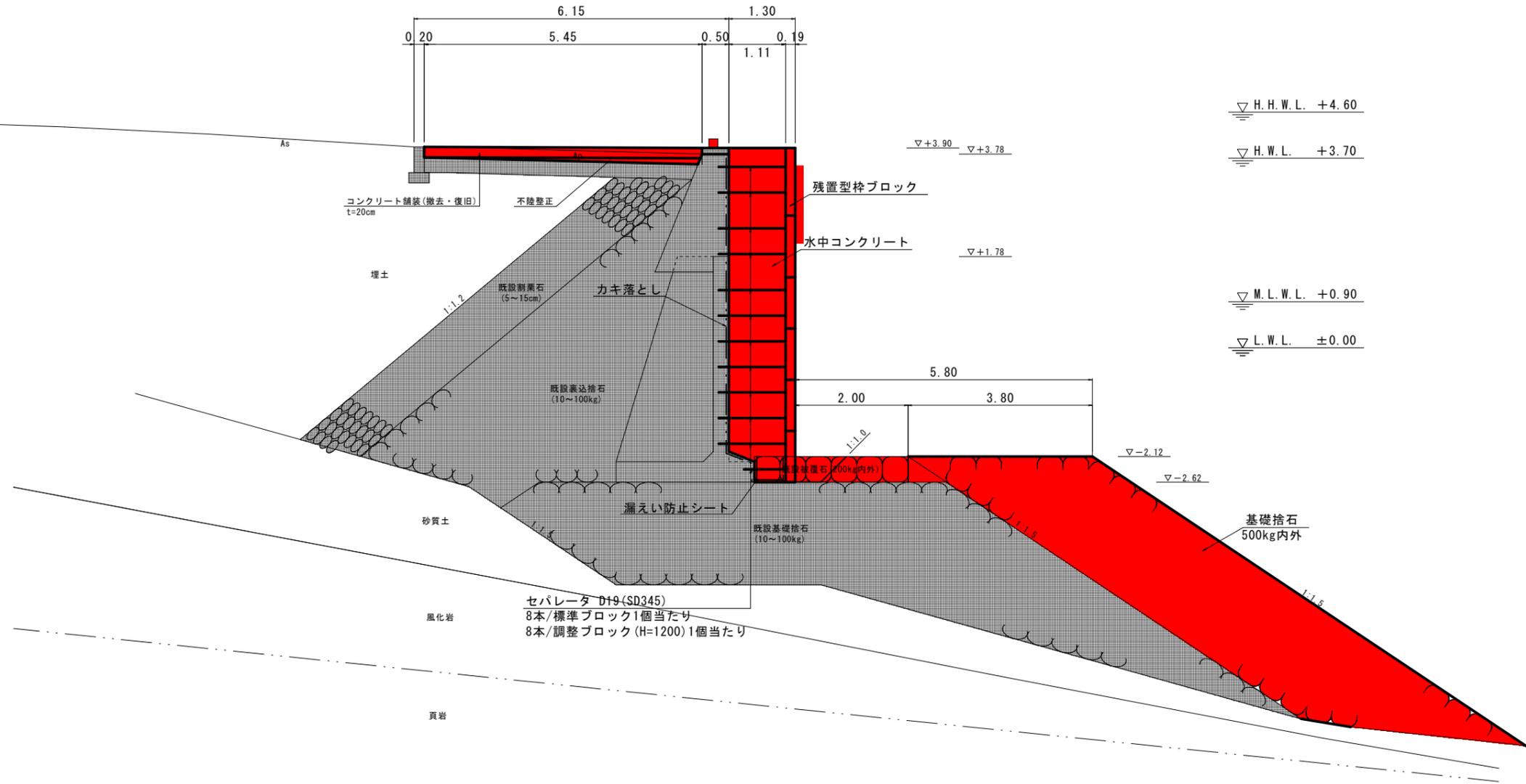


実施設計図

R5-2工区

令和6年度  
幣串漁港  
漁港施設機能強化工事  
縦断図  
全21葉の内 3号  
縮尺 図示  
鹿児島県

標準断面図<標準部>  
S=1:50



令和 6 年度  
幣 串 漁 港  
漁港施設機能強化工事  
標準断面図<標準部>

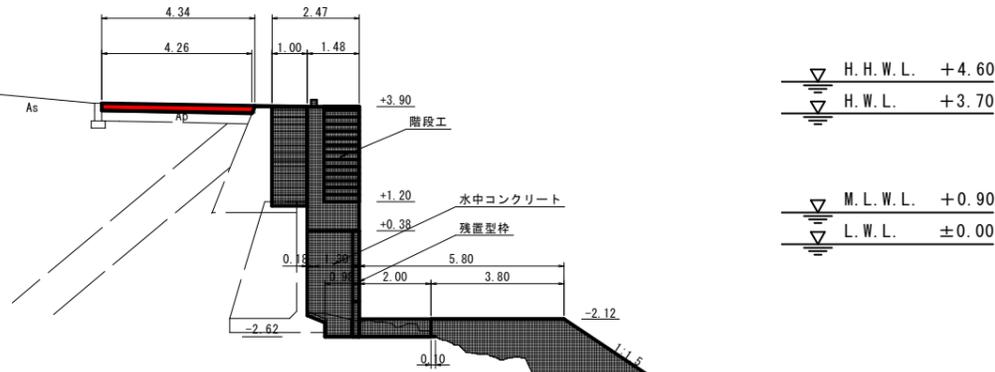
全 21 葉の内 4 号  
縮 尺 50分の1

鹿 児 島 県

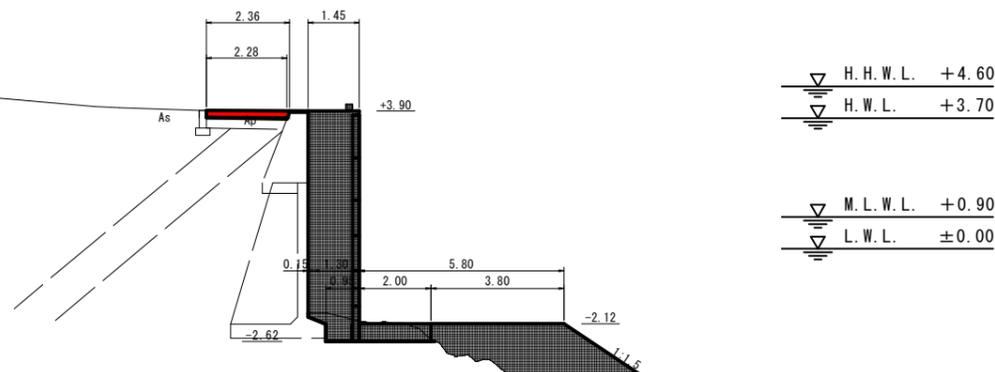
※エプロン舗装のやり替え部分は、物揚場天端が+3.90より低い区間を対象とする。  
※エプロン部分の高さは路盤工で行うものとする。  
※路盤工が不足する場合は、路盤材(RC-40)を追加して調整を行うものとする。

横断図 (1)  
S = 1:100

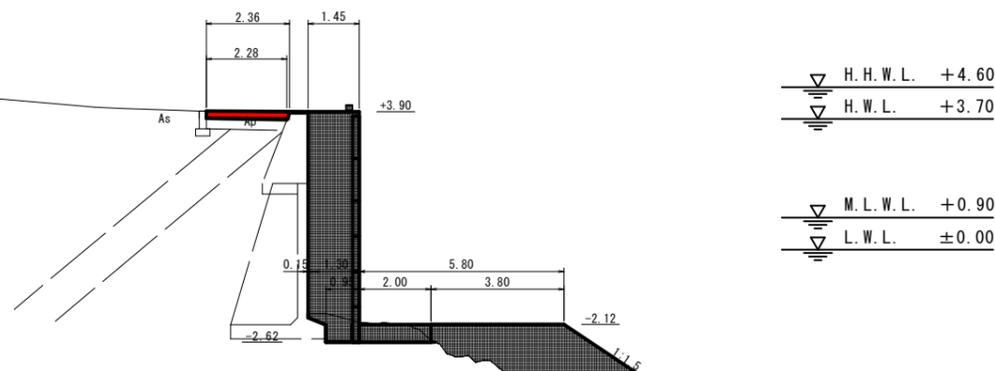
No. 0+10.29' (No. 1+2.5)



No. 0+10.0 (No. 0+10.29)



No. 0+0.46



No. 0+10.29' (No. 1+2.5)

工種	区分	単位	数量	R5-2
被覆石撤去	水中	m <sup>2</sup>	1.3	—
基礎捨石 (500kg内外)	水中	m <sup>2</sup>	7.4	—
本均し (±5cm)	水中	m	1.5	—
荒均し (±10cm)	水中	m	3.8	—
荒均し (±50cm)	水中	m	4.2	—
被覆石 (200kg内外)	水中	m <sup>2</sup>	1.0	—
被覆石均し (0~20cm)	水中	m	2.0	—
水中コンクリート	水中	m <sup>2</sup>	3.60	—
カキ落とし	水中	m	6.3	—
漏えい防止シート	水中	m	1.8	—
嵩上げコンクリート	陸上	m <sup>2</sup>	0.07	—
コンクリート舗装	陸上	m	4.34	4.34
路盤 (不陸整正)	陸上	m	4.26	4.26
路盤材	陸上	m <sup>2</sup>	0.05	0.05

\* 階段部は別途計上

No. 0+10.00 (No. 0+10.29)

工種	区分	単位	数量	R5-2
被覆石撤去	水中	m <sup>2</sup>	1.7	—
基礎捨石 (500kg内外)	水中	m <sup>2</sup>	8.0	—
本均し (±5cm)	水中	m	1.5	—
荒均し (±10cm)	水中	m	3.8	—
荒均し (±50cm)	水中	m	4.1	—
被覆石 (200kg内外)	水中	m <sup>2</sup>	1.0	—
被覆石均し (0~20cm)	水中	m	2.0	—
水中コンクリート	水中	m <sup>2</sup>	7.99	—
カキ落とし	水中	m	6.3	—
漏えい防止シート	水中	m	1.8	—
嵩上げコンクリート	陸上	m <sup>2</sup>	0.06	—
コンクリート舗装	陸上	m	2.36	2.36
路盤 (不陸整正)	陸上	m	2.28	2.28
路盤材	陸上	m <sup>2</sup>	0.04	0.04

No. 0+0.46

工種	区分	単位	数量	R5-2
被覆石撤去	水中	m <sup>2</sup>	1.0	—
基礎捨石 (500kg内外)	水中	m <sup>2</sup>	7.5	—
本均し (±5cm)	水中	m	1.6	—
荒均し (±10cm)	水中	m	3.8	—
荒均し (±50cm)	水中	m	3.7	—
被覆石 (200kg内外)	水中	m <sup>2</sup>	1.0	—
被覆石均し (0~20cm)	水中	m	2.0	—
水中コンクリート	水中	m <sup>2</sup>	8.64	—
カキ落とし	水中	m	6.3	—
漏えい防止シート	水中	m	1.9	—
嵩上げコンクリート	陸上	m <sup>2</sup>	0.01	—
コンクリート舗装	陸上	m	2.36	2.36
路盤 (不陸整正)	陸上	m	2.28	2.28
路盤材	陸上	m <sup>2</sup>	0.04	0.04

実施設計図

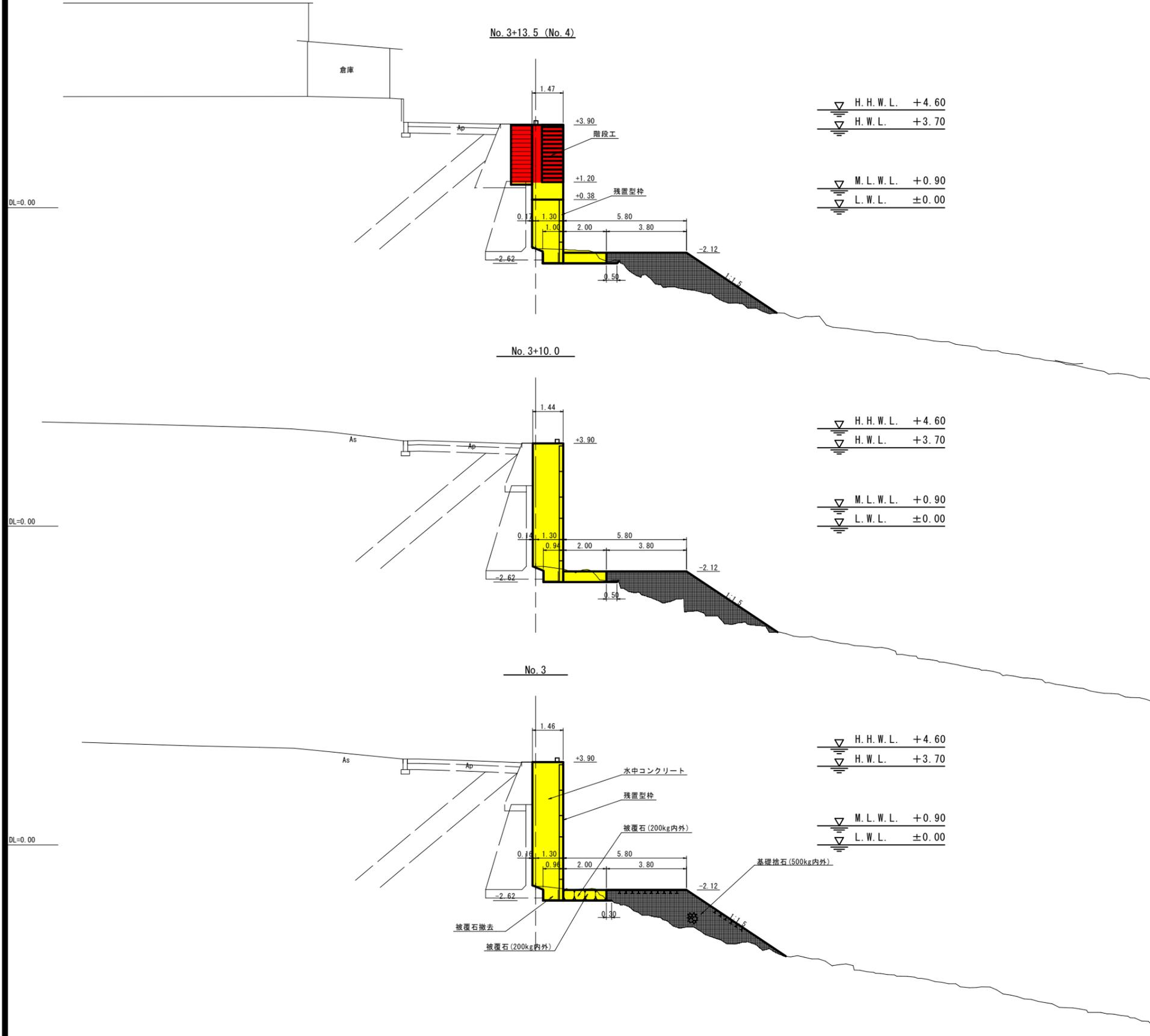
R5-2工区

令和 6 年度  
幣 串 漁 港  
漁港施設機能強化工事  
横断図 (1)

全 21 葉の内 5 号  
縮 尺 100分の1

鹿 児 島 県

横断図 (3)  
S = 1:100



No. 3+13.5 (No. 4)

工種	区分	単位	数量	R5-2
被覆石撤去	水中	m <sup>2</sup>	1.9	—
基礎捨石 (500kg内外)	水中	m <sup>2</sup>	8.1	—
本均し (±5cm)	水中	m	1.5	—
荒均し (±10cm)	水中	m	3.8	—
荒均し (±50cm)	水中	m	5.1	—
被覆石 (200kg内外)	水中	m <sup>2</sup>	1.0	—
被覆石均し (0~20cm)	水中	m	2.0	—
水中コンクリート	水中	m <sup>2</sup>	3.58	—
カキ落とし	水中	m	6.3	—
漏えい防止シート	水中	m	1.8	—
嵩上げコンクリート	陸上	m	—	—
コンクリート舗装	陸上	m	—	—
路盤 (不陸整正)	陸上	m	—	—
路盤材	陸上	m <sup>2</sup>	—	—

\* 階段部のため別途計上

No. 3+10.00

工種	区分	単位	数量	R5-2
被覆石撤去	水中	m <sup>2</sup>	1.6	—
基礎捨石 (500kg内外)	水中	m <sup>2</sup>	8.0	—
本均し (±5cm)	水中	m	1.4	—
荒均し (±10cm)	水中	m	3.8	—
荒均し (±50cm)	水中	m	5.2	—
被覆石 (200kg内外)	水中	m <sup>2</sup>	1.0	—
被覆石均し (0~20cm)	水中	m	2.0	—
水中コンクリート	水中	m <sup>2</sup>	7.92	—
カキ落とし	水中	m	6.3	—
漏えい防止シート	水中	m	1.8	—
嵩上げコンクリート	陸上	m	0.04	—
コンクリート舗装	陸上	m	—	—
路盤 (不陸整正)	陸上	m	—	—
路盤材	陸上	m <sup>2</sup>	—	—

No. 3

工種	区分	単位	数量	R5-2
被覆石撤去	水中	m <sup>2</sup>	1.6	—
基礎捨石 (500kg内外)	水中	m <sup>2</sup>	8.5	—
本均し (±5cm)	水中	m	1.5	—
荒均し (±10cm)	水中	m	3.8	—
荒均し (±50cm)	水中	m	5.6	—
被覆石 (200kg内外)	水中	m <sup>2</sup>	1.0	—
被覆石均し (0~20cm)	水中	m	2.0	—
水中コンクリート	水中	m <sup>2</sup>	8.02	—
カキ落とし	水中	m	6.3	—
漏えい防止シート	水中	m	1.8	—
嵩上げコンクリート	陸上	m	0.04	—
コンクリート舗装	陸上	m	—	—
路盤 (不陸整正)	陸上	m	—	—
路盤材	陸上	m <sup>2</sup>	—	—

実施設計図

R5-2工区

令和6年度  
幣串漁港

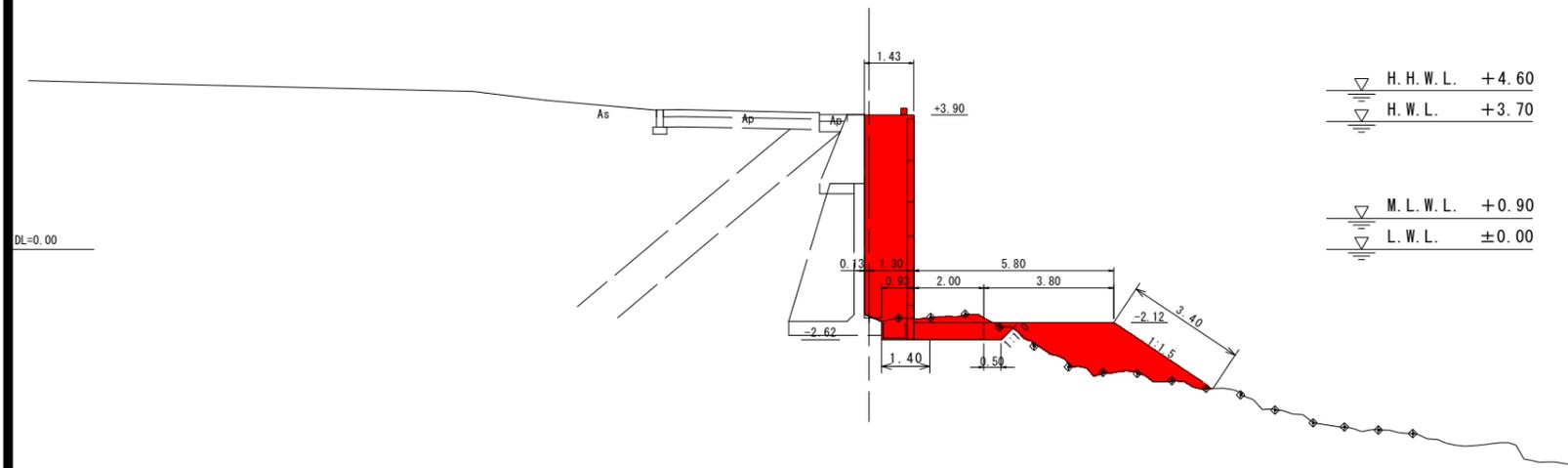
横断図 (3)

全 21 葉の内 6 号  
縮尺 100分の1

鹿児島県

横断図 (4)  
S = 1:100

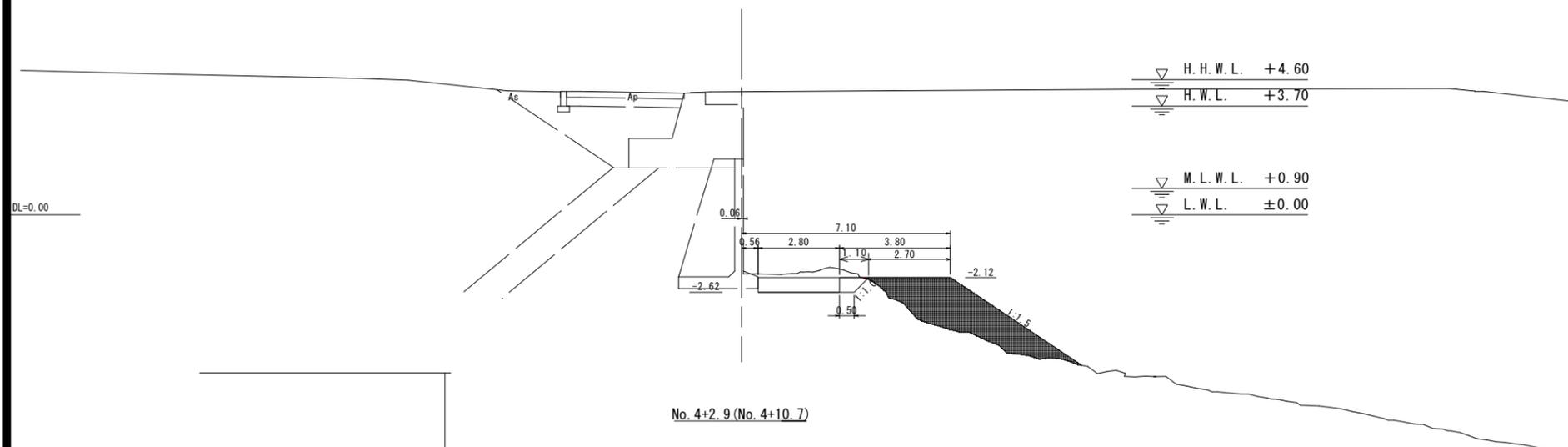
No. 4+17.2 (No. 5)



No. 4+17.2 (No. 5)

工種	区分	単位	全体数量	R5-2
被覆石撤去	水中	m <sup>2</sup>	2.4	2.4
基礎捨石 (500kg内外)	水中	m <sup>2</sup>	5.3	5.3
本均し (±5cm)	水中	m	1.4	1.4
荒均し (±10cm)	水中	m	3.8	3.8
荒均し (±50cm)	水中	m	3.4	3.4
被覆石 (200kg内外)	水中	m <sup>2</sup>	1.0	1.0
被覆石均し (0~20cm)	水中	m	2.0	2.0
水中コンクリート	水中	m <sup>2</sup>	7.88	7.88
カキ落とし	水中	m	6.3	6.3
漏えい防止シート	水中	m	1.7	1.7
嵩上げコンクリート	陸上	m <sup>2</sup>	—	—
コンクリート舗装	陸上	m	—	—
路盤 (不陸整正)	陸上	m	—	—
路盤材	陸上	m <sup>2</sup>	—	—

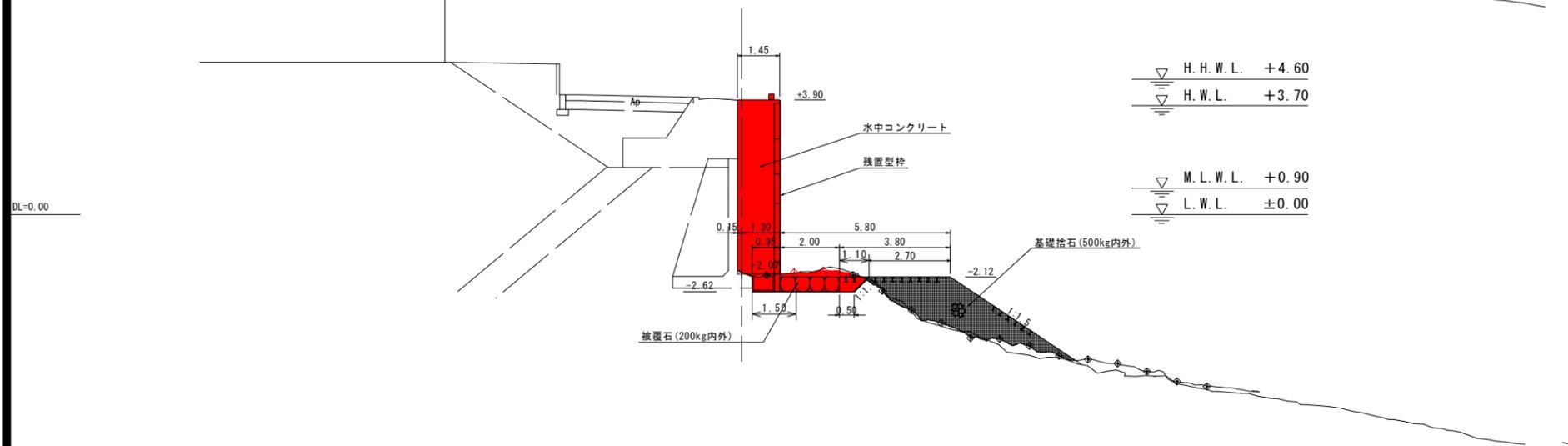
No. 4+14.0



No. 4+14.00

工種	区分	単位	全体数量	R5-2
被覆石撤去	水中	m <sup>2</sup>	2.4	0.0
基礎捨石 (500kg内外)	水中	m <sup>2</sup>	7.6	0.0
本均し (±5cm)	水中	m	—	—
荒均し (±10cm)	水中	m	3.8	0.0
荒均し (±50cm)	水中	m	5.4	—
被覆石 (200kg内外)	水中	m <sup>2</sup>	1.4	0.0
被覆石均し (0~20cm)	水中	m	2.8	0.0
水中コンクリート	水中	m <sup>2</sup>	—	—
カキ落とし	水中	m	—	—
漏えい防止シート	水中	m	—	—
嵩上げコンクリート	陸上	m <sup>2</sup>	—	—
コンクリート舗装	陸上	m	—	—
路盤 (不陸整正)	陸上	m	—	—
路盤材	陸上	m <sup>2</sup>	—	—

No. 4+2.9 (No. 4+10.7)



No. 4+2.9 (No. 4+10.70)

工種	区分	単位	全体数量	R5-2
被覆石撤去	水中	m <sup>2</sup>	2.5	2.5
基礎捨石 (500kg内外)	水中	m <sup>2</sup>	7.6	0.4
本均し (±5cm)	水中	m	1.5	1.5
荒均し (±10cm)	水中	m	3.8	1.1
荒均し (±50cm)	水中	m	5.4	—
被覆石 (200kg内外)	水中	m <sup>2</sup>	1.0	1.0
被覆石均し (0~20cm)	水中	m	2.0	2.0
水中コンクリート	水中	m <sup>2</sup>	7.97	7.97
カキ落とし	水中	m	6.3	6.3
漏えい防止シート	水中	m	1.8	1.8
嵩上げコンクリート	陸上	m <sup>2</sup>	0.02	0.0
コンクリート舗装	陸上	m	—	—
路盤 (不陸整正)	陸上	m	—	—
路盤材	陸上	m <sup>2</sup>	—	—

実施設計図

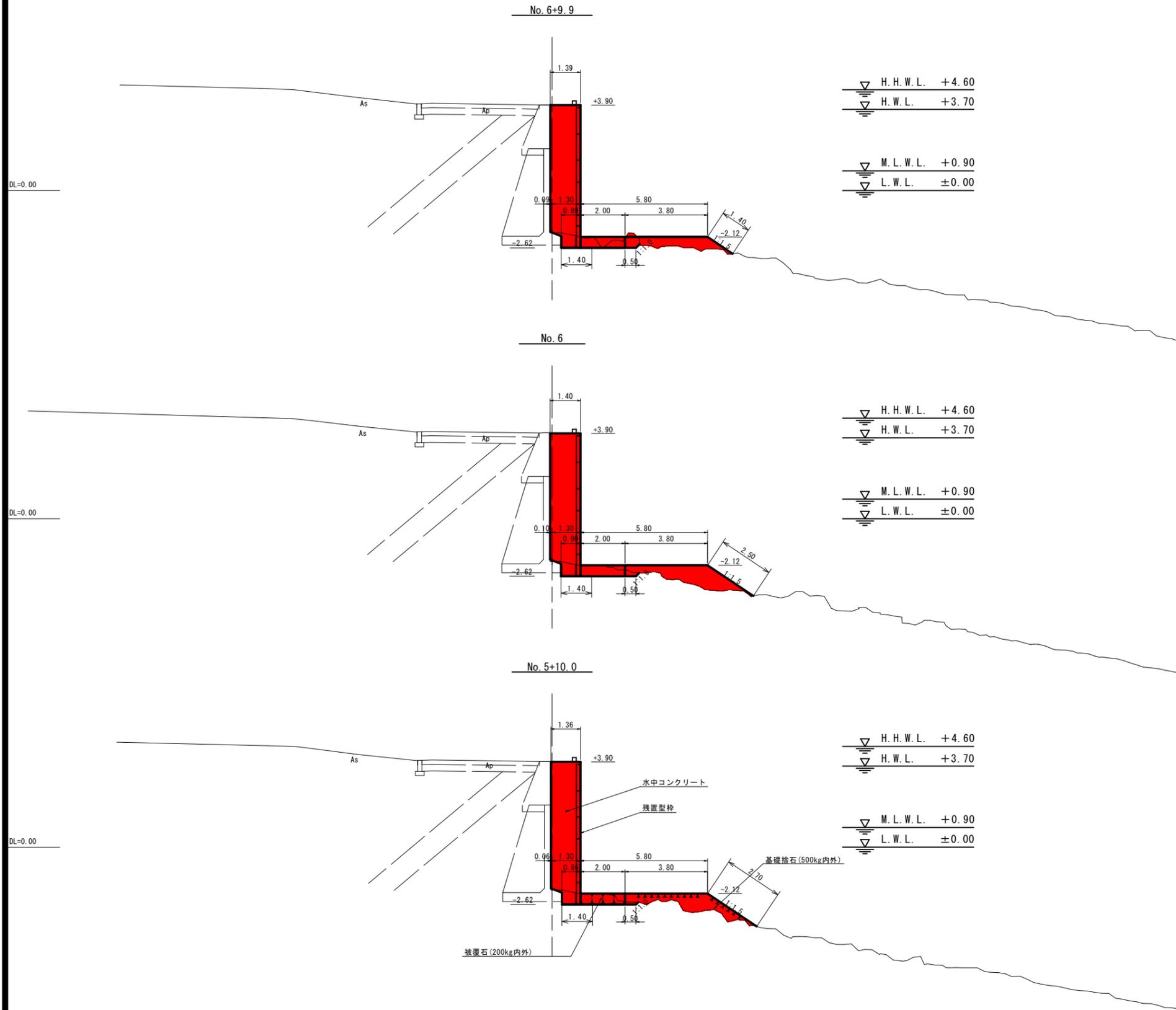
R5-2工区

令和6年度  
幣串漁港  
漁港施設機能強化工事  
横断図 (4)

全 21 葉の内 7 号  
縮尺 100分の1

鹿児島県

横断図 (5)  
S = 1:100



No. 6+9.9

工種	区分	単位	数量	R5-2
被覆石撤去	水中	m <sup>2</sup>	1.6	1.6
基礎捨石 (500kg内外)	水中	m <sup>2</sup>	2.0	2.0
本均し (±5cm)	水中	m	1.4	1.4
荒均し (±10cm)	水中	m	3.8	3.8
荒均し (±50cm)	水中	m	1.4	1.4
被覆石 (200kg内外)	水中	m <sup>2</sup>	1.0	1.0
被覆石均し (0~20cm)	水中	m	2.0	2.0
水中コンクリート	水中	m <sup>2</sup>	7.56	7.56
カキ落とし	水中	m	6.3	6.3
漏えい防止シート	水中	m	1.7	1.7
嵩上げコンクリート	陸上	m <sup>2</sup>	—	—
コンクリート舗装	陸上	m	—	—
路盤 (不陸整正)	陸上	m	—	—
路盤材	陸上	m <sup>2</sup>	—	—

No. 6

工種	区分	単位	数量	R5-2
被覆石撤去	水中	m <sup>2</sup>	1.6	1.6
基礎捨石 (500kg内外)	水中	m <sup>2</sup>	3.3	3.3
本均し (±5cm)	水中	m	1.4	1.4
荒均し (±10cm)	水中	m	3.8	3.8
荒均し (±50cm)	水中	m	2.5	2.5
被覆石 (200kg内外)	水中	m <sup>2</sup>	1.0	1.0
被覆石均し (0~20cm)	水中	m	2.0	2.0
水中コンクリート	水中	m <sup>2</sup>	7.63	7.63
カキ落とし	水中	m	6.3	6.3
漏えい防止シート	水中	m	1.7	1.7
嵩上げコンクリート	陸上	m <sup>2</sup>	—	—
コンクリート舗装	陸上	m	—	—
路盤 (不陸整正)	陸上	m	—	—
路盤材	陸上	m <sup>2</sup>	—	—

No. 5+10.00

工種	区分	単位	数量	R5-2
被覆石撤去	水中	m <sup>2</sup>	1.5	1.5
基礎捨石 (500kg内外)	水中	m <sup>2</sup>	2.9	2.9
本均し (±5cm)	水中	m	1.4	1.4
荒均し (±10cm)	水中	m	3.8	3.8
荒均し (±50cm)	水中	m	2.7	2.7
被覆石 (200kg内外)	水中	m <sup>2</sup>	1.0	1.0
被覆石均し (0~20cm)	水中	m	2.0	2.0
水中コンクリート	水中	m <sup>2</sup>	7.37	7.37
カキ落とし	水中	m	6.3	6.3
漏えい防止シート	水中	m	1.7	1.7
嵩上げコンクリート	陸上	m <sup>2</sup>	—	—
コンクリート舗装	陸上	m	—	—
路盤 (不陸整正)	陸上	m	—	—
路盤材	陸上	m <sup>2</sup>	—	—

実施設計図

R5-2工区

令和6年度  
幣串漁港

横断図 (5)

全 21 葉の内 8 号

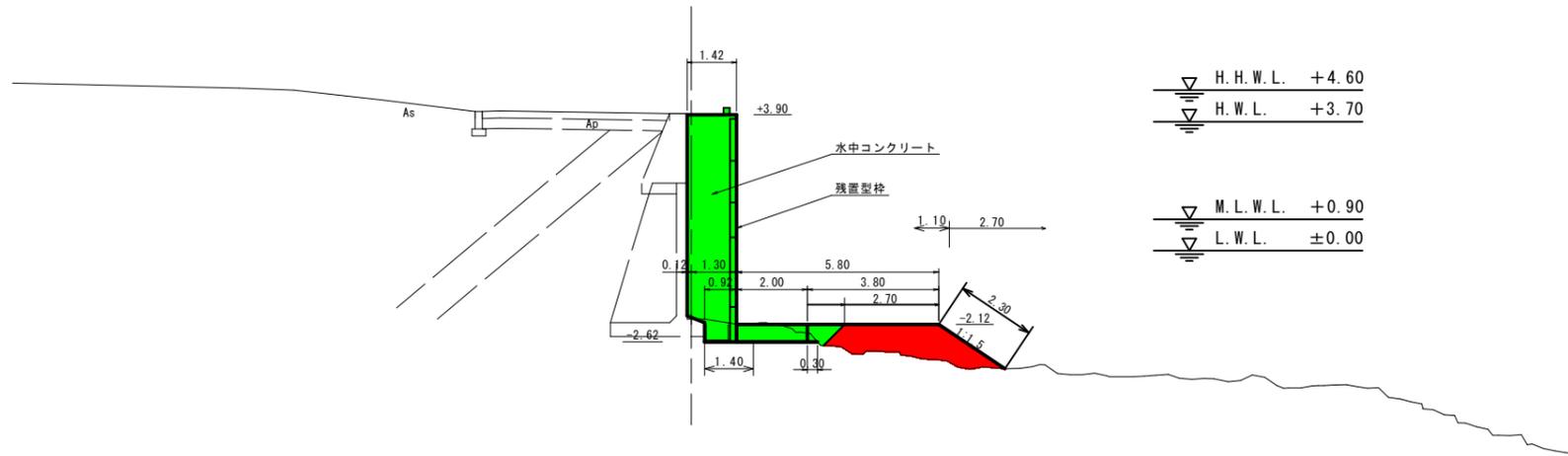
縮尺 100分の1

鹿児島県

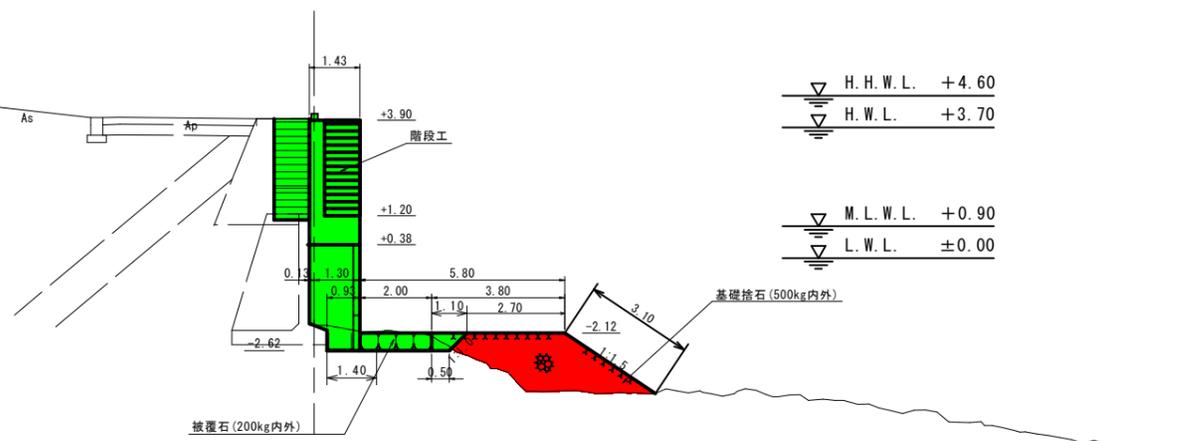
# 横断図 (6)

S = 1:100

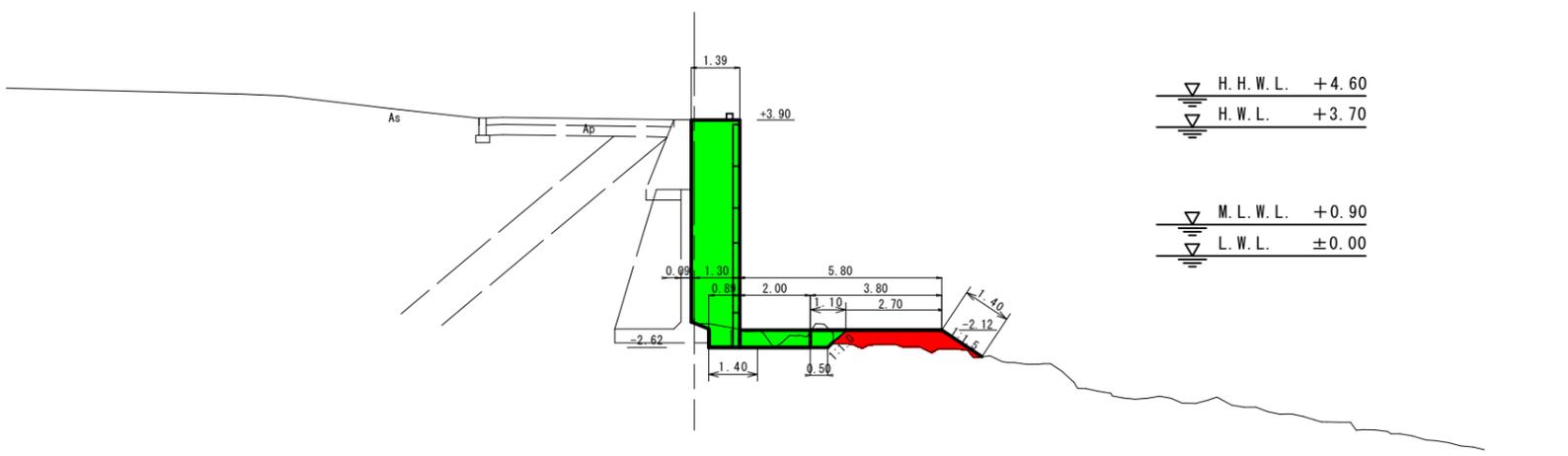
No. 7+10.0 (No. 7+13.0)



No. 7



No. 6+9.9'



No. 7+13.0 (No. 7+10.00)

工種	区分	単位	数量	R5-2
被覆石撤去	水中	m <sup>2</sup>	1.6	—
基礎捨石 (500kg内外)	水中	m <sup>2</sup>	4.0	3.6
本均し (±5cm)	水中	m	1.4	—
荒均し (±10cm)	水中	m	3.8	2.7
荒均し (±50cm)	水中	m	2.3	2.3
被覆石 (200kg内外)	水中	m <sup>2</sup>	1.0	—
被覆石均し (0~20cm)	水中	m	2.0	—
水中コンクリート	水中	m <sup>2</sup>	7.80	—
カキ落とし	水中	m	6.3	—
漏えい防止シート	水中	m	1.7	—
嵩上げコンクリート	陸上	m <sup>2</sup>	—	—
コンクリート舗装	陸上	m	—	—
路盤 (不陸整正)	陸上	m	—	—
路盤材	陸上	m <sup>2</sup>	—	—

No. 7

工種	区分	単位	数量	R5-2
被覆石撤去	水中	m <sup>2</sup>	1.9	—
基礎捨石 (500kg内外)	水中	m <sup>2</sup>	6.6	6.2
本均し (±5cm)	水中	m	1.4	—
荒均し (±10cm)	水中	m	3.8	2.7
荒均し (±50cm)	水中	m	3.1	3.1
被覆石 (200kg内外)	水中	m <sup>2</sup>	1.0	—
被覆石均し (0~20cm)	水中	m	2.0	—
水中コンクリート	水中	m <sup>2</sup>	3.48	—
カキ落とし	水中	m	6.3	—
漏えい防止シート	水中	m	1.7	—
嵩上げコンクリート	陸上	m <sup>2</sup>	—	—
コンクリート舗装	陸上	m	—	—
路盤 (不陸整正)	陸上	m	—	—
路盤材	陸上	m <sup>2</sup>	—	—

\* 階段部は別途計上

No. 6+9.9'

工種	区分	単位	数量	R5-2
被覆石撤去	水中	m <sup>2</sup>	1.6	—
基礎捨石 (500kg内外)	水中	m <sup>2</sup>	2.0	1.6
本均し (±5cm)	水中	m	1.4	—
荒均し (±10cm)	水中	m	3.8	2.7
荒均し (±50cm)	水中	m	1.4	1.4
被覆石 (200kg内外)	水中	m <sup>2</sup>	1.0	—
被覆石均し (0~20cm)	水中	m	2.0	—
水中コンクリート	水中	m <sup>2</sup>	7.56	—
カキ落とし	水中	m	6.3	—
漏えい防止シート	水中	m	1.7	—
嵩上げコンクリート	陸上	m <sup>2</sup>	—	—
コンクリート舗装	陸上	m	—	—
路盤 (不陸整正)	陸上	m	—	—
路盤材	陸上	m <sup>2</sup>	—	—

実施設計図

R5-2工区

令和6年度  
幣串漁港

横断図 (6)

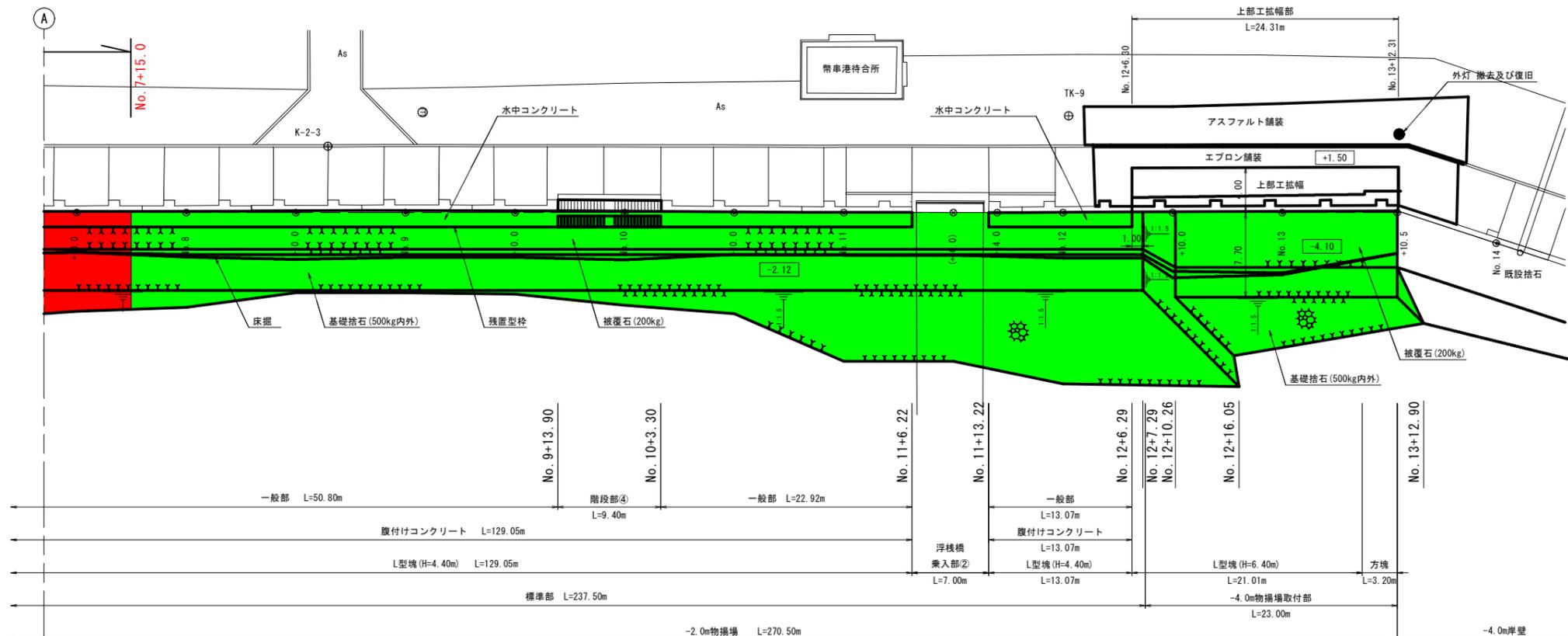
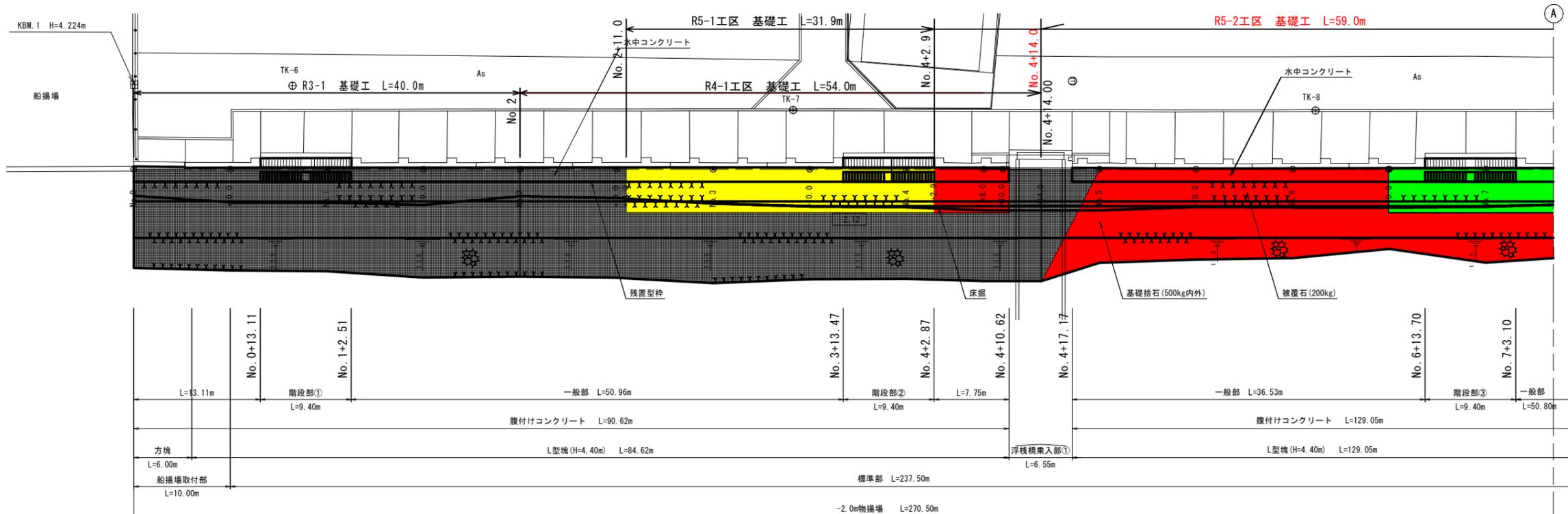
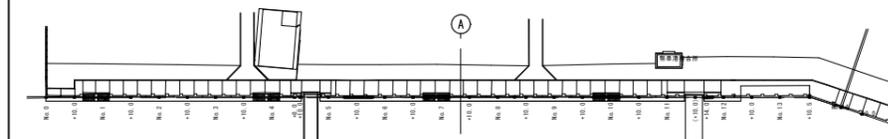
全 21 葉の内 9 号  
縮尺 100分の1

鹿児島県

# 基礎工平面図

S=1:250

## KEY PLAN



## 実施設計図

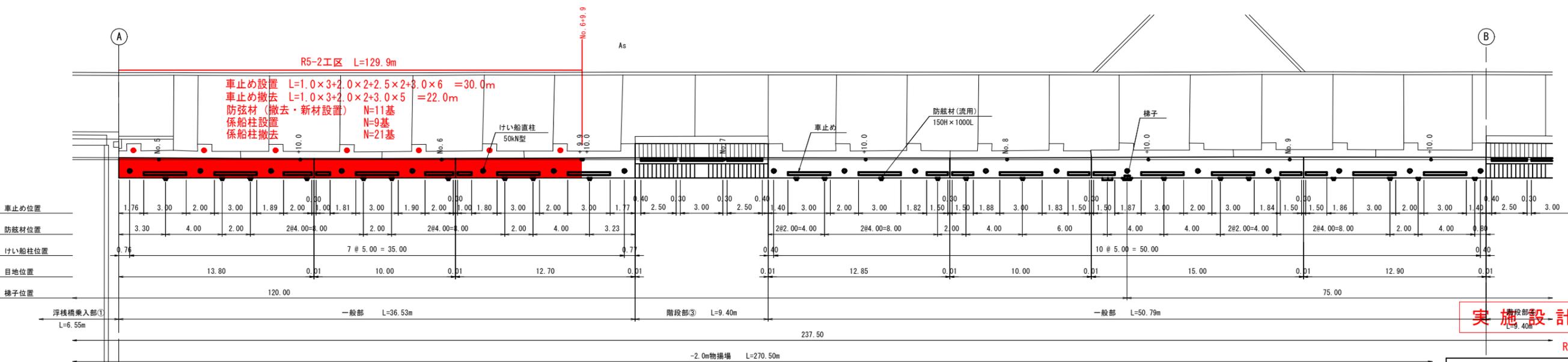
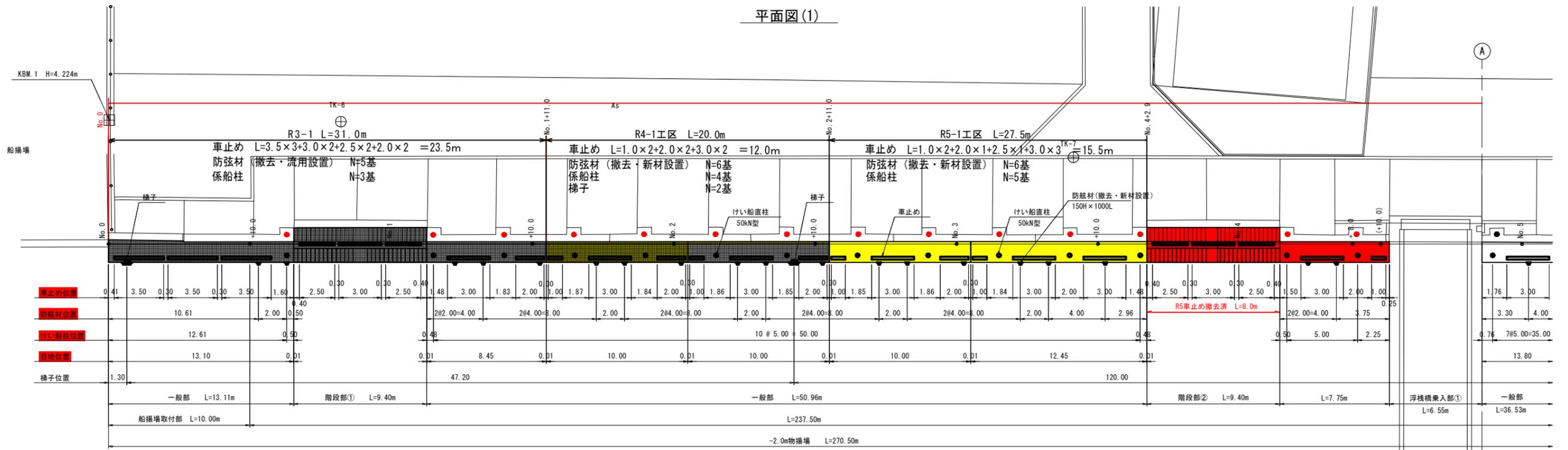
R5-2工区

令和6年度  
 幣串漁港  
 漁港施設機能強化工事  
 基礎工平面図  
 全21葉の内10号  
 縮尺 250分の1  
 鹿児島県

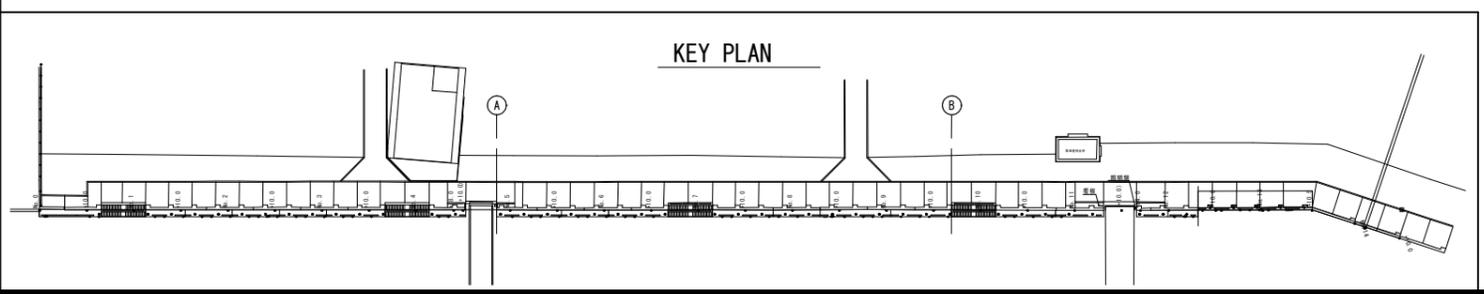
# 付属工配置図(1)

S=1:150 U:m

平面図(1)



実施設計図

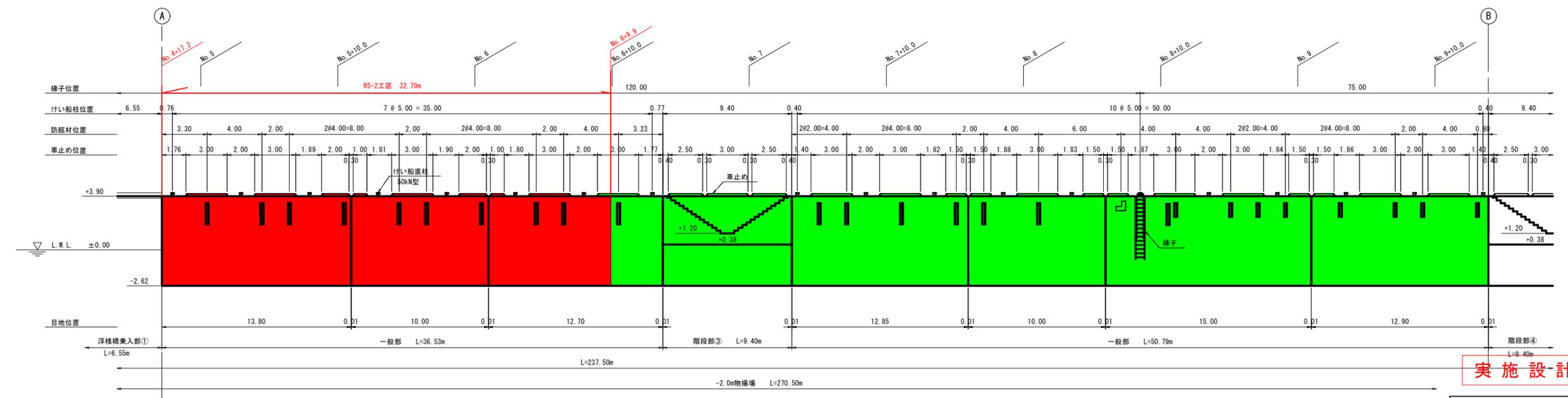
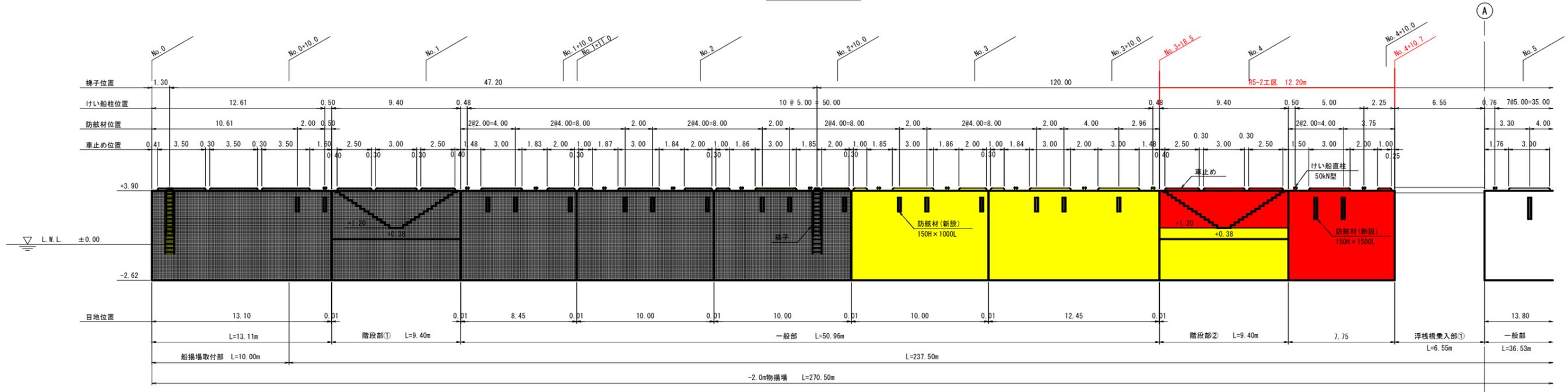


令和6年度  
幣串漁港  
漁港施設機能強化工事  
付属工配置図(1)  
全21葉の内11号  
縮尺 150分の1  
鹿児島県

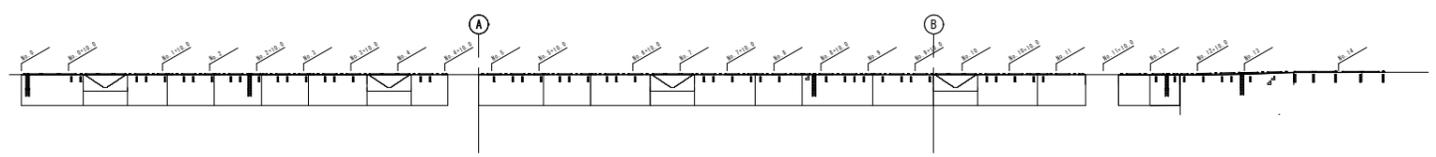
# 付属工配置図(3)

S=1:150 U:m

## 縦断図(1)



### KEY PLAN



実施設計図

R5-2工区

令和6年度  
 幣串漁港  
 漁港施設機能強化工事  
 付属工配置図(3)  
 全21葉の内 12号  
 縮尺 150分の1  
 鹿児島県

# 付属工詳細図(1)

## 参考図

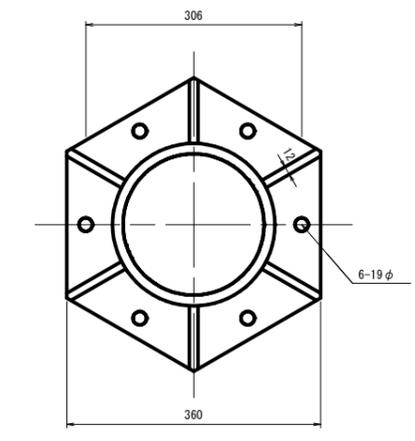
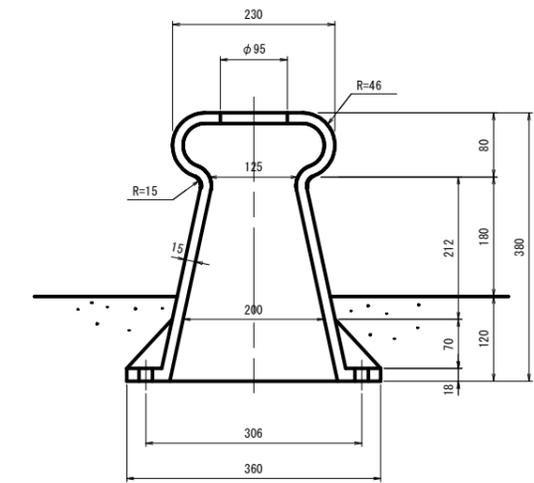
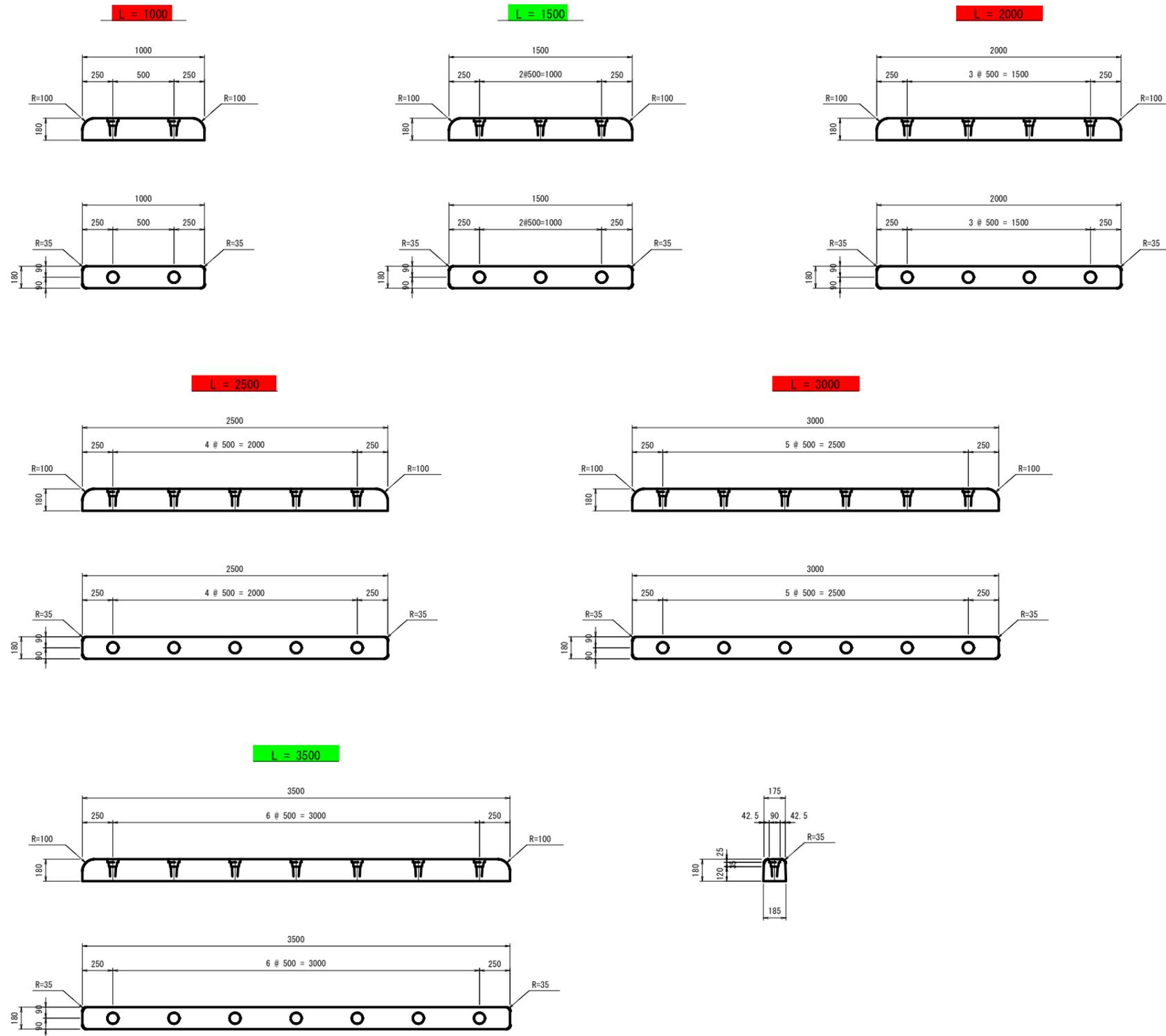
車止め詳細図

S:1:20 U:mm

けい船直柱

S:1:5 U:mm

(50kN型)



実施設計図

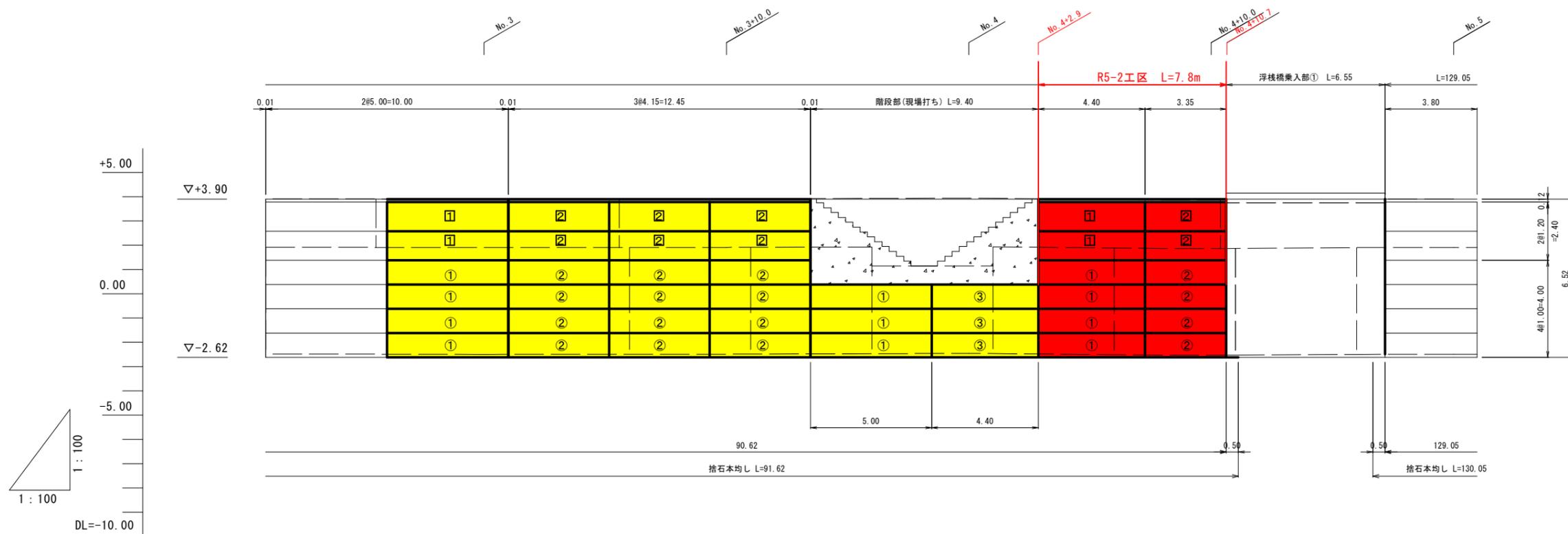
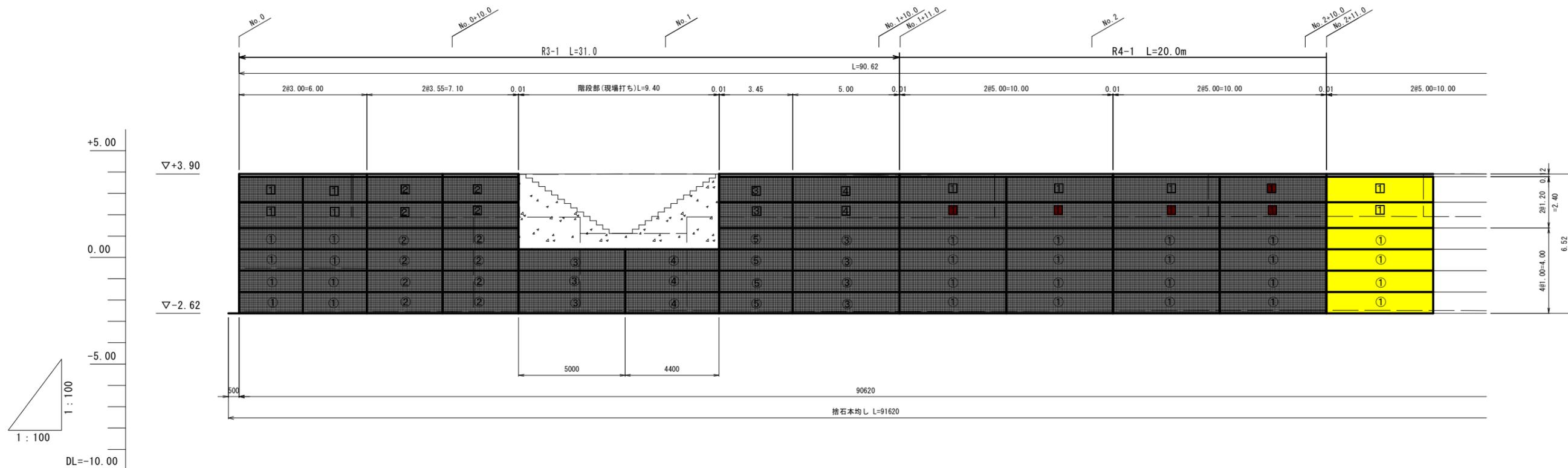
R5-2工区

令和 **6** 年度  
 幣串漁港  
 漁港施設機能強化工事  
 付属工詳細図(1)  
 全 **21** 葉の内 **13** 号  
 縮尺 図示  
 鹿児島県

# 残置型枠ブロック割付図(1)

S=1:100

縦断面図



実施設計図

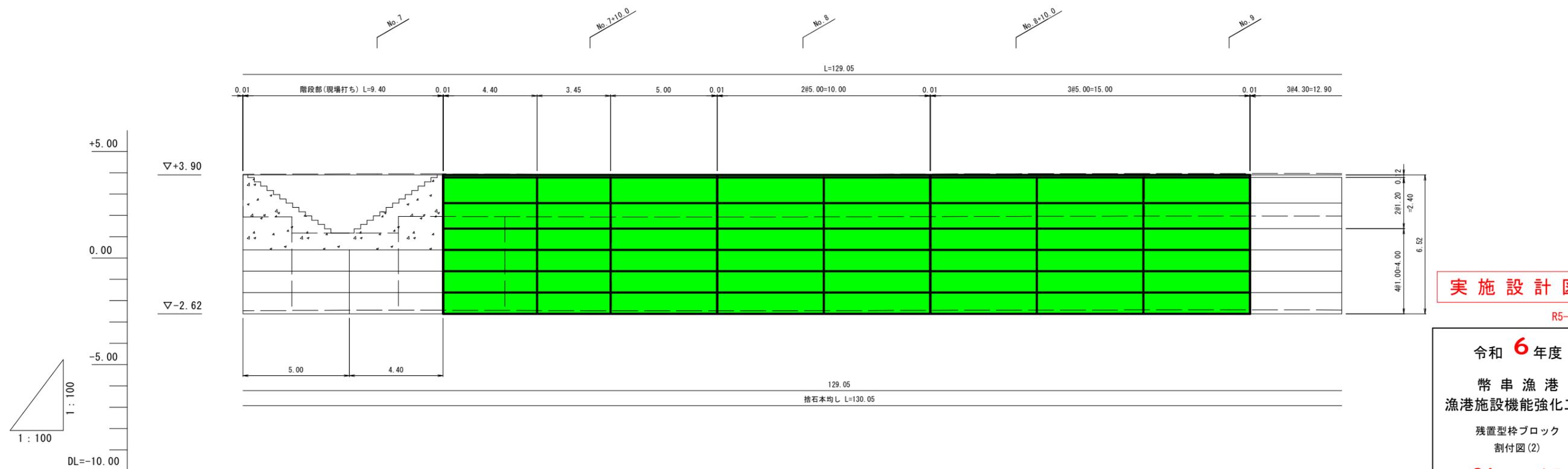
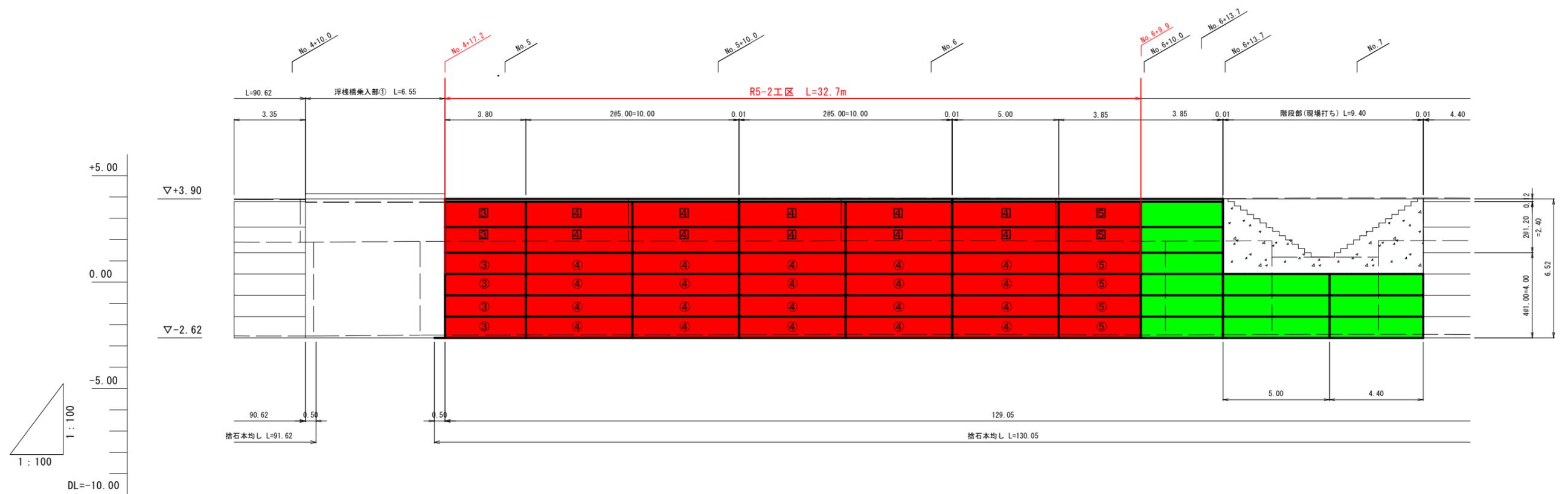
R5-2工区

令和6年度  
幣串漁港  
漁港施設機能強化工事  
残置型枠ブロック  
割付図(1)  
全21葉の内14号  
縮尺 100分の1  
鹿児島県

# 残置型枠ブロック割付図(2)

S=1:100

縦断図



実施設計図

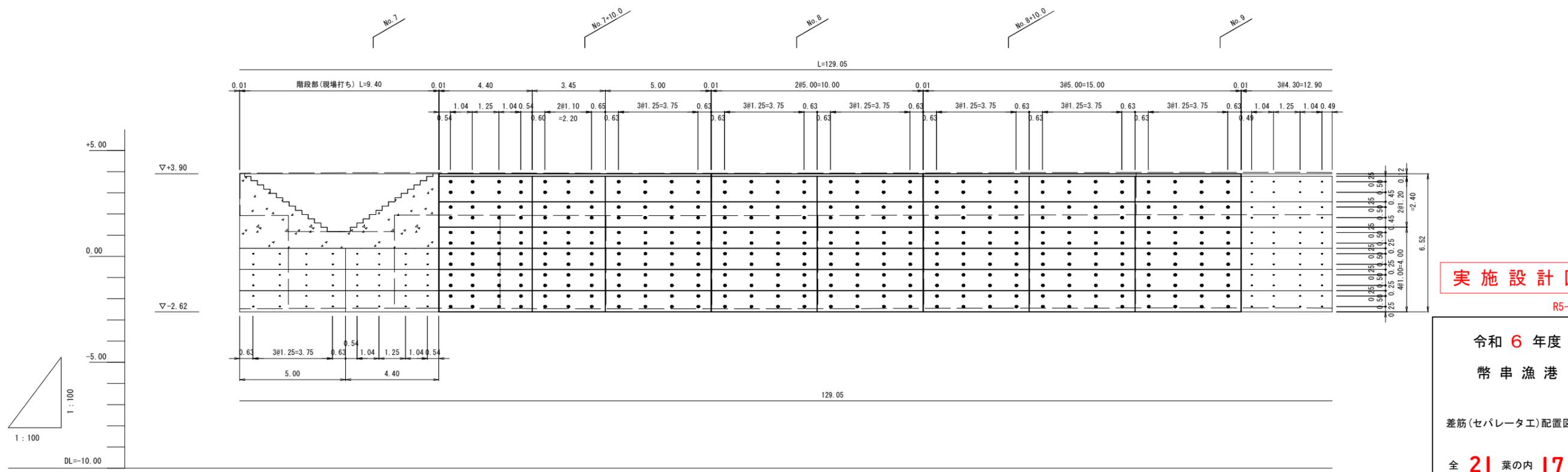
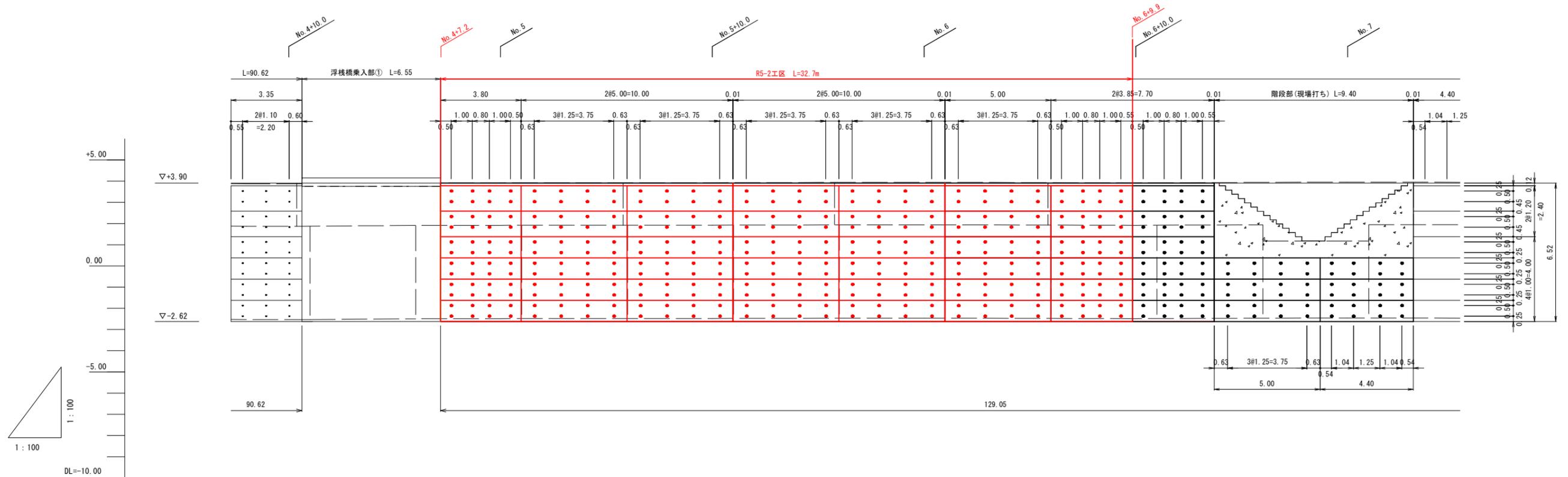
R5-2工区

令和6年度  
 幣串漁港  
 漁港施設機能強化工事  
 残置型枠ブロック  
 割付図(2)  
 全21葉の内 15号  
 縮尺 100分の1  
 鹿児島県



# 差筋(セパレータ工)配置図(2)

縦断面図 S=1:100



実施設計図

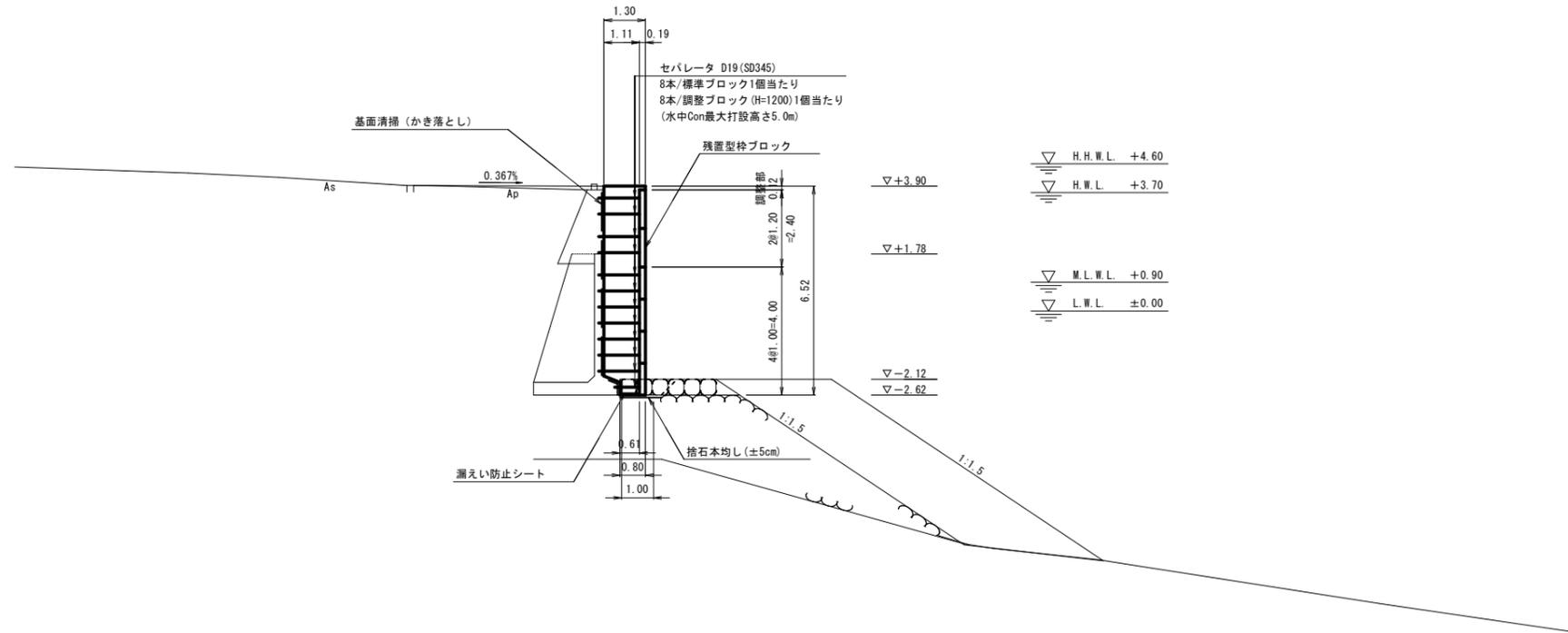
R5-2工区

令和 6 年度  
幣串漁港  
差筋(セパレータ工)配置図(2)  
全 21 葉の内 17 号  
縮尺 100分の1  
鹿児島県

※差筋の剛孔位置は、現況構造物の状況によって剛孔位置を調整すること。

# 残置型枠構造図

断面図 S=1:100

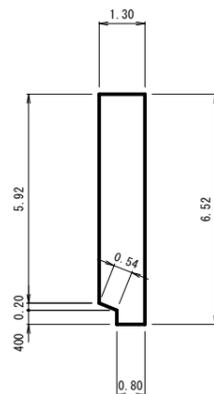


数量表

名称	規格	算定式	単位	数量
残置型枠ブロック (水中)				
調整ブロック	H1200×W5000	2 × (10.00/5.00)	個	4.00
標準ブロック	H1000×W5000	4 × (10.00/5.00)	個	8.00
中詰めコンクリート				
水中コンクリート		8.23 × 10.00 - 2.14 × 6.40	m <sup>3</sup>	68.60
漏えい防止シート		(0.61+0.50+0.50) × 10.00	m <sup>2</sup>	16.10
セパレータ (水中)	D19	8 × (4+8)	本	96.00
さし筋 (水中)	D19			

延長10m当り

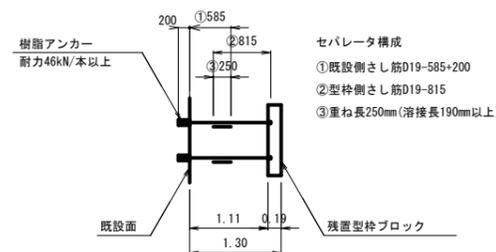
腹付け工標準断面図



断面積  $A = 1.30 \times 5.92 + (1.30 + 0.80) / 2 \times 0.20 + 0.80 \times 0.40$   
 $= 8.23 \text{ m}^2$

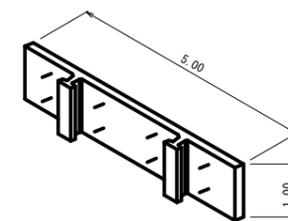
セパレータ詳細図

(水中コンクリート1回の最大打設高さ 5.0m にて算出)



- セパレータ構成
- ① 既設側さし筋D19-585+200
  - ② 型枠側さし筋D19-815
  - ③ 重ね長250mm(溶接長190mm以上)

残置型枠体積



残置型枠ブロック1個当たりの体積  
 $V = 1.07 \text{ m}^3$   
 残置型枠高さ1m×延長10m当りの体積  
 $1.07 \text{ m}^3 \times 2 \text{ 個} = 2.14 \text{ m}^3$

実施設計図

R5-2工区

令和6年度  
 幣串漁港  
 漁港施設機能強化工事  
 残置型枠構造図

全21葉の内18号  
 縮尺 100分の1

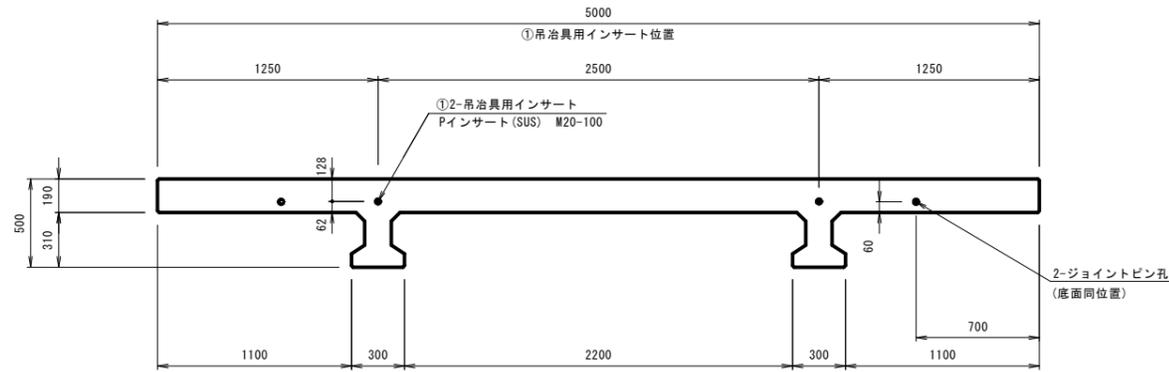
鹿児島県

# 残置型枠標準ブロック形状図(参考図)

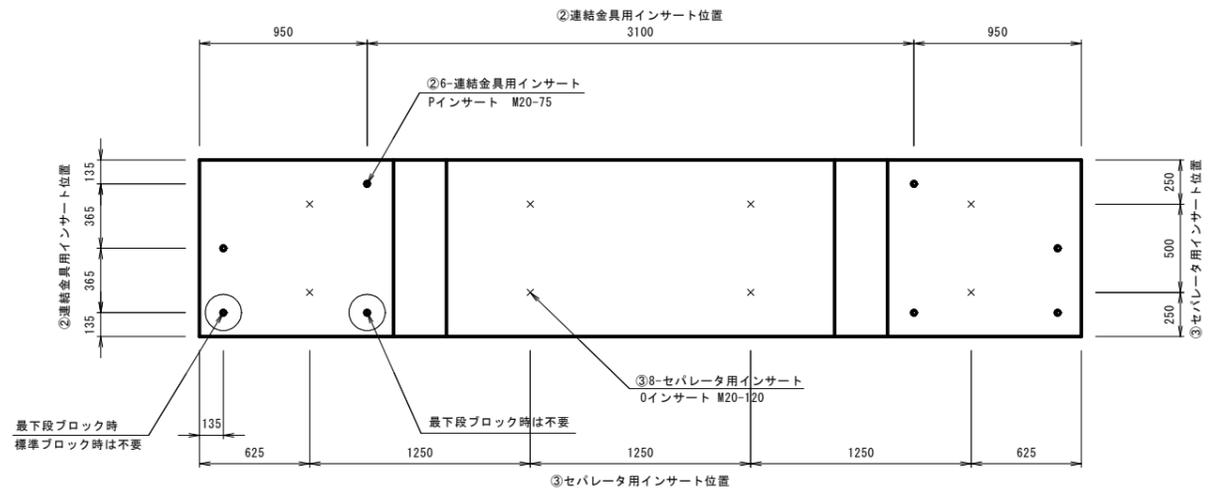
H1000×L5000

S=1:20

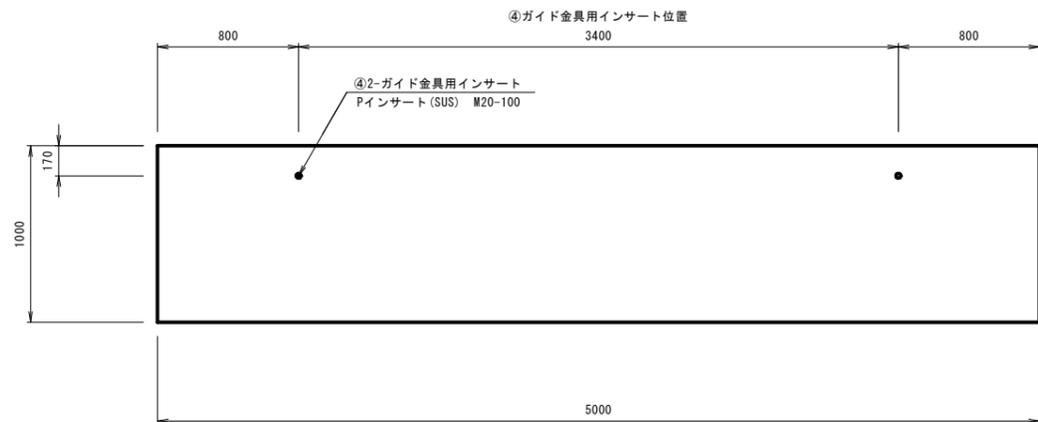
上面図



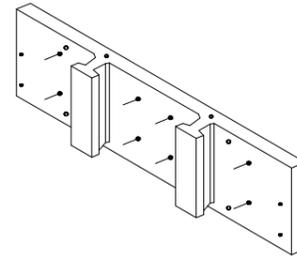
背面図



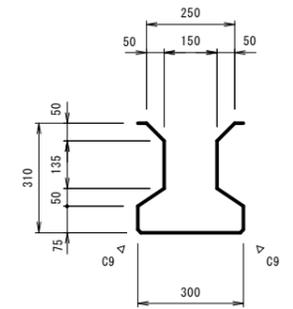
正面図



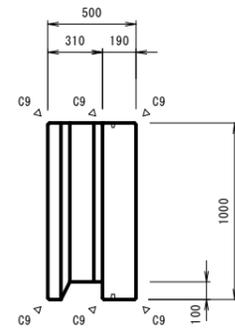
概略図



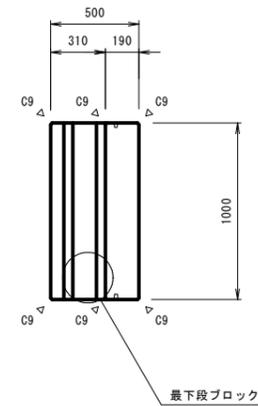
脚部詳細図 S=1:20



側面図 (標準)



側面図 (最下段)



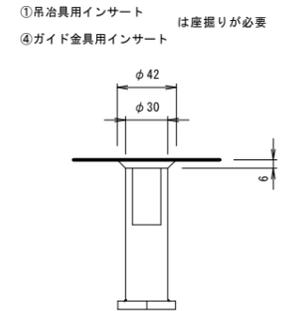
製品諸元 (標準)

設計基準強度	30N/mm <sup>2</sup>
脱型強度	11N/mm <sup>2</sup> 以上
製品体積	1.073m <sup>3</sup>
製品質量	2685kg

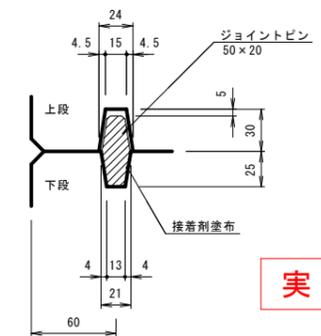
製品諸元 (最下段)

設計基準強度	30N/mm <sup>2</sup>
脱型強度	11N/mm <sup>2</sup> 以上
製品体積	1.078m <sup>3</sup>
製品質量	2695kg

インサート取付詳細図 S=1:5



ジョイントピン孔詳細図 S=1:5



実施設計図

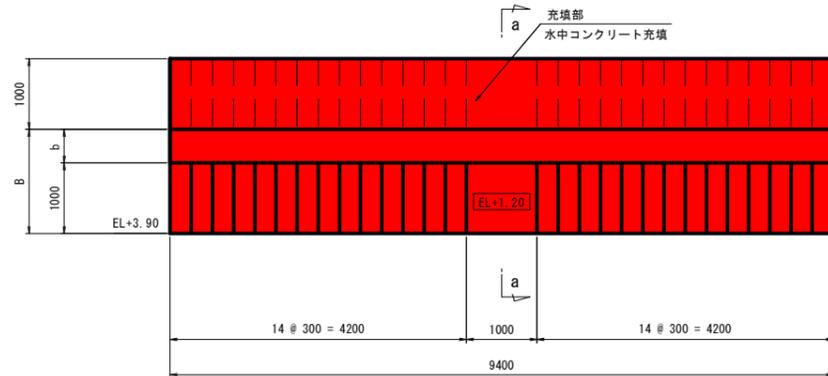
R5-2工区

令和6年度  
幣串漁港  
漁港施設機能強化工事  
残置型枠標準ブロック形状図  
(参考図)  
全21葉の内19号  
縮尺 図示  
鹿児島県

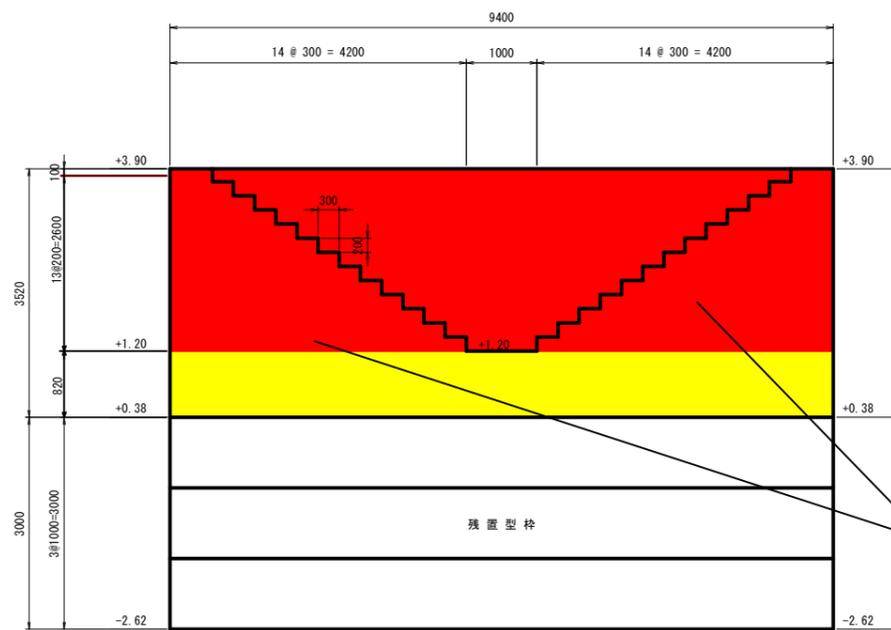
# 階段工詳細図

S=1:50 u:mm

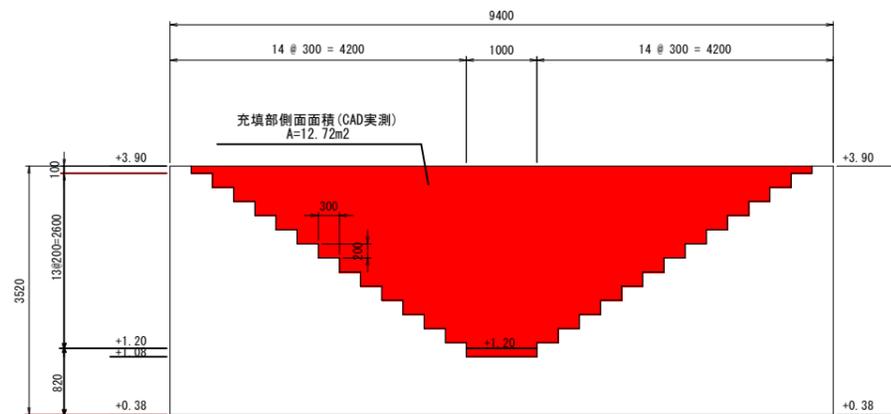
平面図



正面図



既設階段との取付充填コンクリート



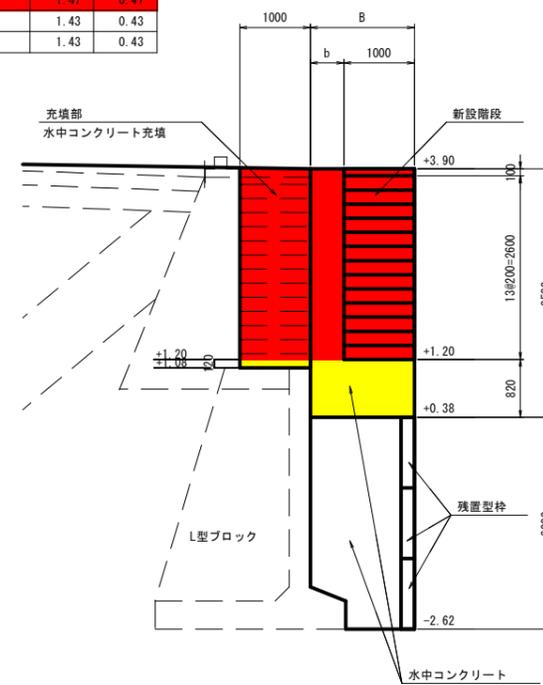
数量表

項目	単位	階段部① (No. 1付近)	階段部② (No. 4付近)	階段部③ (No. 7付近)	階段部④ (No. 10付近)	合計
コンクリート体積	m <sup>3</sup>	25.76	24.87	34.44	34.44	140.40
型枠面積	m <sup>2</sup>	38.49	17.85	38.49	38.49	153.96
既設階段工コンクリート充填	m <sup>3</sup>	12.84	12.72	12.84	12.84	51.36

※ コンクリートは水中コンクリートとする。

	B (m)	b (m)
階段部① No. 1付近	1.47	0.47
階段部② No. 4付近	1.47	0.47
階段部③ No. 7付近	1.43	0.43
階段部④ No. 10付近	1.43	0.43

a - a



## 実施設計図

R5-2工区

令和 6 年度  
幣 串 漁 港  
漁港施設機能強化工事

階段工詳細図

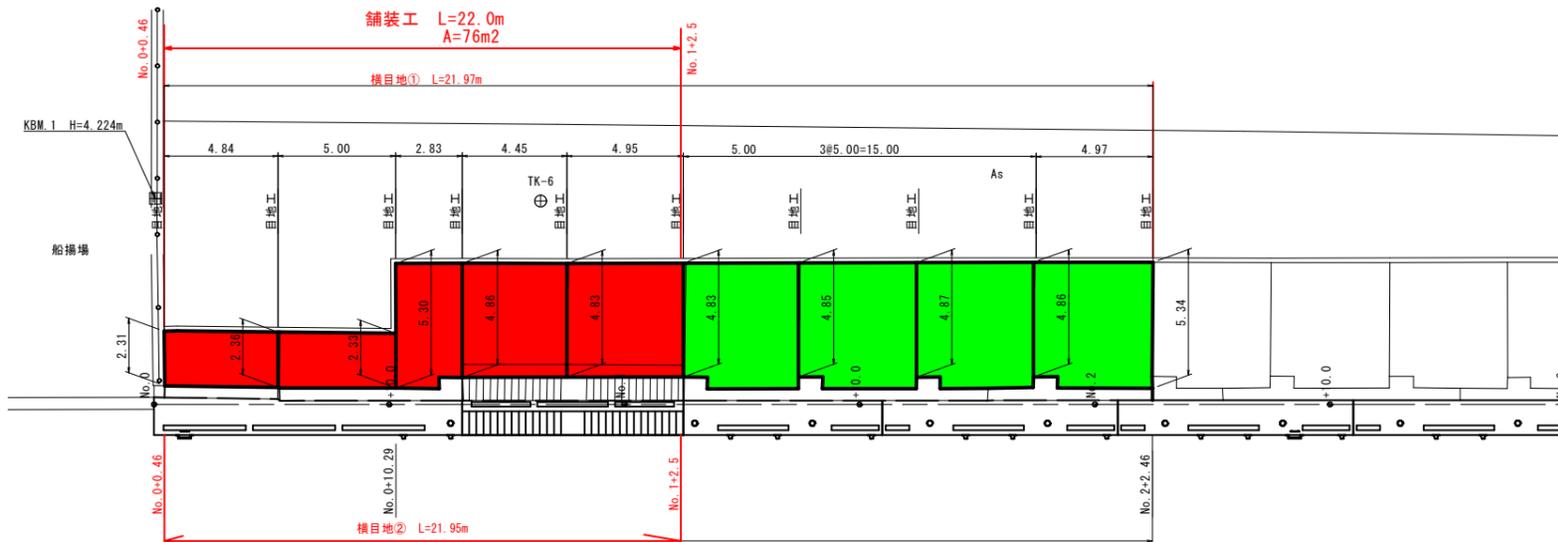
全 21 葉の内 20 号  
縮 尺 50分の1

鹿 児 島 県

# 舗装工詳細図

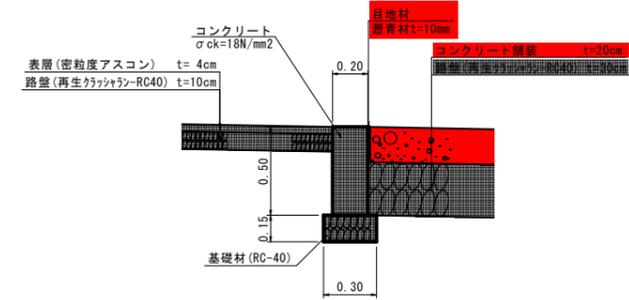
S=1:150

平面図①

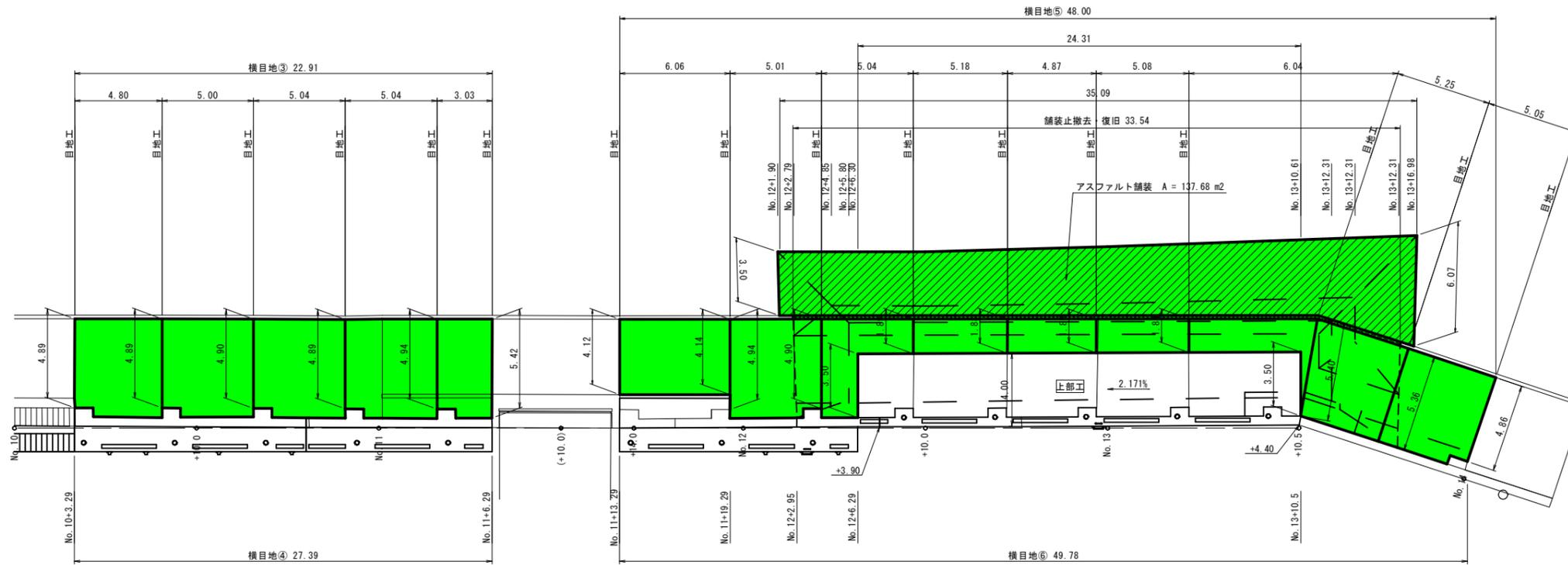


舗装止詳細図

S=1:20



平面図②



実施設計図

R5-2工区

令和6年度  
幣串漁港

舗装工詳細図

全21葉の内21号  
縮尺 150分の1

鹿児島県